

令和4年度

岡谷市地域公共交通計画策定支援（調査）業務

協議会資料

2023（令和5）年2月

岡谷市地域公共交通活性化協議会



## 基礎調査

### 1. 調査概要

#### 1-1 調査の目的

地域公共交通を取り巻く環境は、モータリゼーションの普及、人口減少等による利用者の減少を背景に、厳しい状況にあります。シルキーバスについても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、さらに厳しい状況となっています。

一方で、地域公共交通はまちづくりや観光振興だけでなく、健康、福祉、教育、環境等に大きな効果をもたらすため、市民が中心となり、まちづくりの一環として取り組むことが重要です。

また2020年（令和2年）に、「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」の改正法が施行され、原則として全ての地方公共団体において地域公共交通計画の策定に取り組むように定められました。

本調査は、岡谷市の公共交通を取り巻く諸環境や実態を調査し、地域公共交通計画の作成に繋げるための基礎的整理を行うものです。

#### 1-2 調査の概要

「岡谷市地域公共交通計画」の策定に向け、住民アンケートなど諸調査を行い、市内の公共交通の利用実態や、市の財政負担状況なども整理します。

調査項目	調査内容
住民アンケート	住民を対象にアンケート調査を実施し、日常生活（目的別）の移動実態、バスをはじめとする公共交通の利用状況、認識等を調査する。
バス利用実態調査	市内を運行するバスの利用者を対象に、目的や利用頻度、乗降バス停等を調査し、公共交通を利用した移動実態を把握する。
県内19市財政負担状況調査	岡谷市以外の県内18市に対し、バス運行（またはバスの運行支援など）における収支及び財政負担の状況を調査、比較分析を通じて、本市の特性を把握する。
福祉タクシーアンケート調査	福祉タクシー利用券購入者及び免許証返納による利用券交付者を対象にアンケート調査を行い、福祉タクシー運行事業内容の見直し、利便性向上に係る実態を把握する。
移動交通量調査	アンケート調査、バス利用実態調査に加え、人流ビッグデータを用いて、市内の移動傾向を分析する。
クロスセクター分析	シルキーバスが担う通学、通院、買い物等の移動に関わる代替行政コストを算出し、既存公共交通の投資効果を分析する。
AI デマンド交通システム事業者アンケート	市内でオンデマンド交通を導入した場合のコスト等についてシステム事業者を対象としたアンケート調査を行い、路線再編時の検討資料とする。

## 2. 岡谷市地域公共交通総合連携計画（平成23年～平成25年）の状況

### 2-1 事業の実施状況

前回計画における事業・施策の実施状況について、全21の事業・施策は以下のとおりであり、多くの事業が計画どおり実施されました。

前回計画における事業の実施状況

	事業・施策	事業の内容	事業の実施状況（実施の有無）
1-1	シルキーバスの再編	①今井・長地線の再編	○ダイヤ変更、経路変更を実施
		②長地・今井線の再編	○ダイヤ変更、経路変更を実施
		③岡谷温泉線【(仮)市街地循環線東ルート】の再編	○ダイヤ変更、経路変更を実施
		④市内循環線【(仮)市街地循環線西ルート】の再編	○ダイヤ変更、経路変更を実施
		⑤川岸橋原線の再編	○経路変更を実施
		⑥やまびこ公園線の再編	○経路変更を実施
		⑦川岸線の再編	○経路変更を実施
1-2	シルキーバス利用不便地域の解消	①(仮)湊・塩嶺病院線の新規運行	○利用状況を勘案し、再編
		②(仮)シルキーバスミニの新規運行	
1-3	福祉タクシーの改善	①福祉タクシーの改善	○実施
2-1	運行施設整備	①バス停・ベンチ・雨よけ施設の設置	○一部実施
		②新規バス停の設置	○一部実施
		③新規バス車両の導入	○実施
2-2	再編周知・PR	①バス路線図・時刻表の改訂	○実施
		②バス案内板の設置	○一部実施
		③周知・広報活動	○実施
2-3	利用促進事業	①通学割引回数券の発行	×見送り
		②おかぼんカードとの連携	○実施
		③高齢者の免許自主返納への支援	○実施
2-4	モビリティ・マネジメント事業	①モビリティ・マネジメントの実施	○実施
		②利用促進、体験イベント等の開催	○実施

### 2-2 目標の達成状況

前回計画で設定された目標について、3つのすべての目標で達成には至っていないものの、「シルキーバス1日あたり利用者数」「住民アンケート調査におけるバス利用者満足」については、計画策定時に比べ目標に向かい上昇、改善しました。

前回計画における目標の達成状況

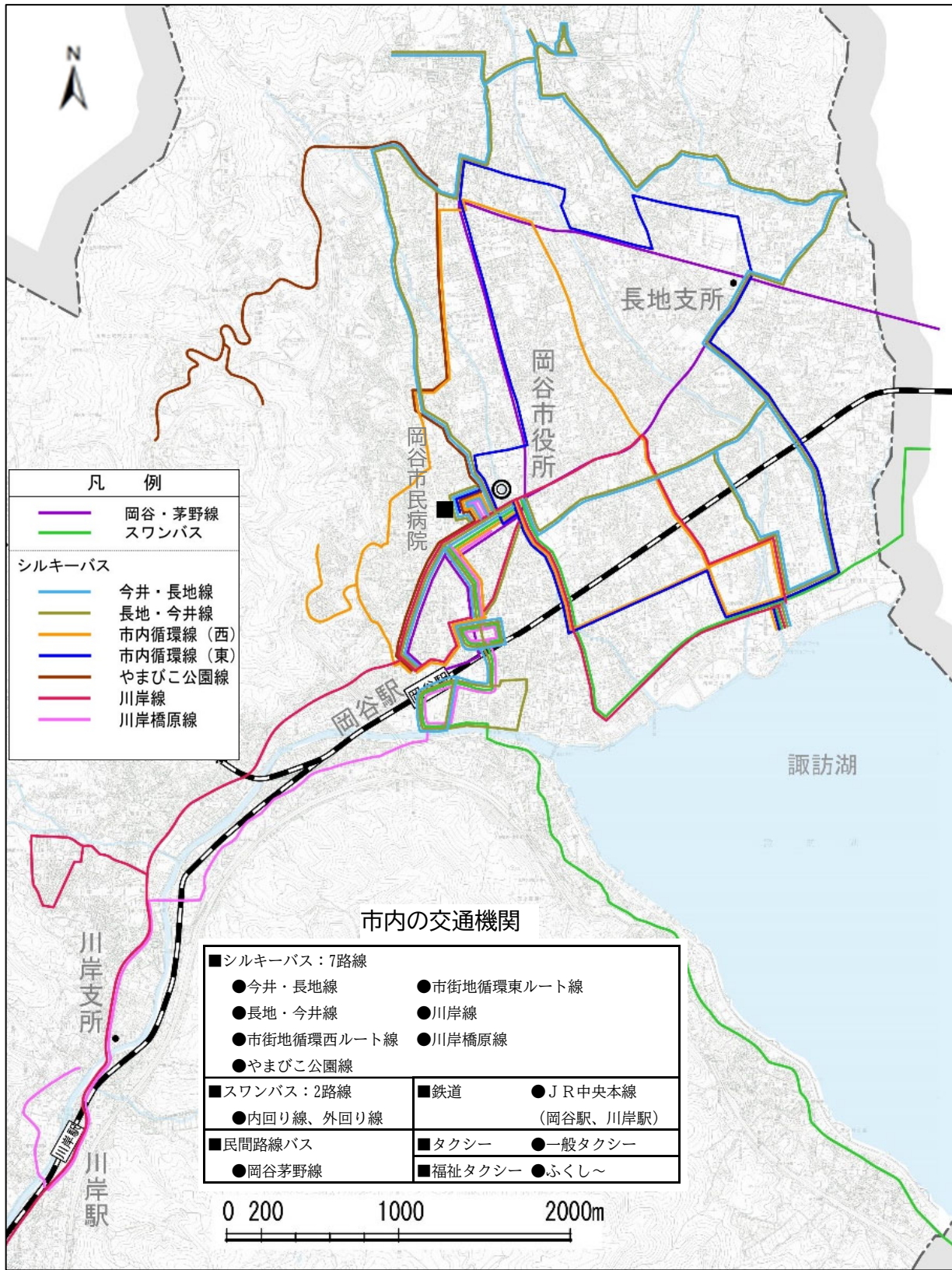
評価指標	前回計画時	目標値	平成26年度本格運行時の実績
シルキーバス1日あたり利用者数	392人/日 (2009年度(H21))	404人/日 (2014年度(H26))	400人/日 <sup>※1</sup> (2014年度(H26))
住民アンケート調査におけるバス利用者満足度 <sup>※2</sup>	74% (2010年度(H22))	78% (2014年度(H26))	76% <sup>※3</sup> (2014年度(H26))
シルキーバスの収支割合	40% (2009年度(H21))	45% (2014年度(H26))	32.2% <sup>※4</sup> (2014年度(H26))
福祉タクシーの収支割合	24% (2009年度(H21))	30% (2014年度(H26))	20.3% <sup>※5</sup> (2014年度(H26))

※1：岡谷市統計要覧 シルキーバスの利用乗員数H26 145,695人 ÷ 364日  
 ※2：無回答を除く満足度（「満足」と「概ね満足」の合計値）， ※3：平成26年度 市民アンケート調査結果より  
 ※4：岡谷市資料， ※5：岡谷市資料 8,664,000円（利用券収入） ÷ 42,652,132円（委託総額）

### 3. 市内の地域公共交通

#### 3-1 公共交通の運行状況

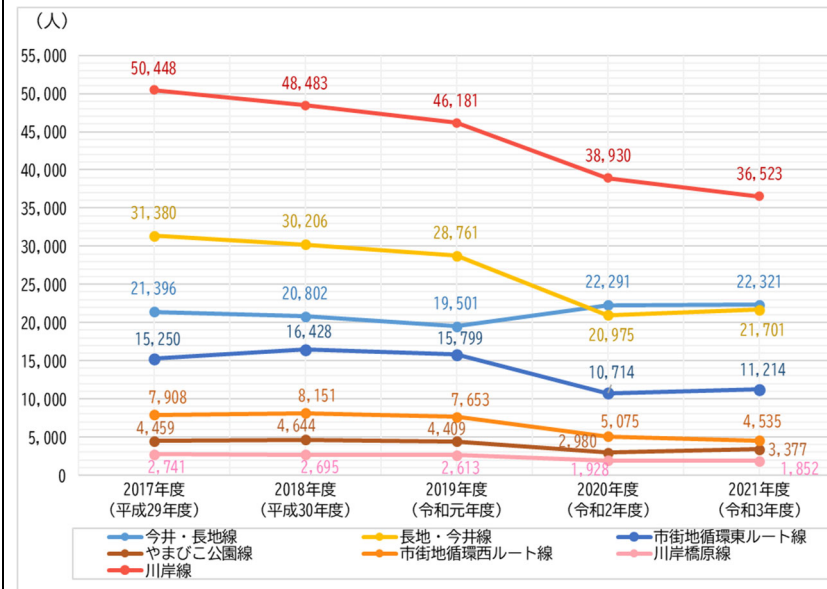
岡谷市内の公共交通機関は、鉄道ではJR中央本線、バスでは岡谷茅野線・シルキーバス・スワンバスのほか、一般タクシーや福祉タクシー「ふくし〜」が運行しています。



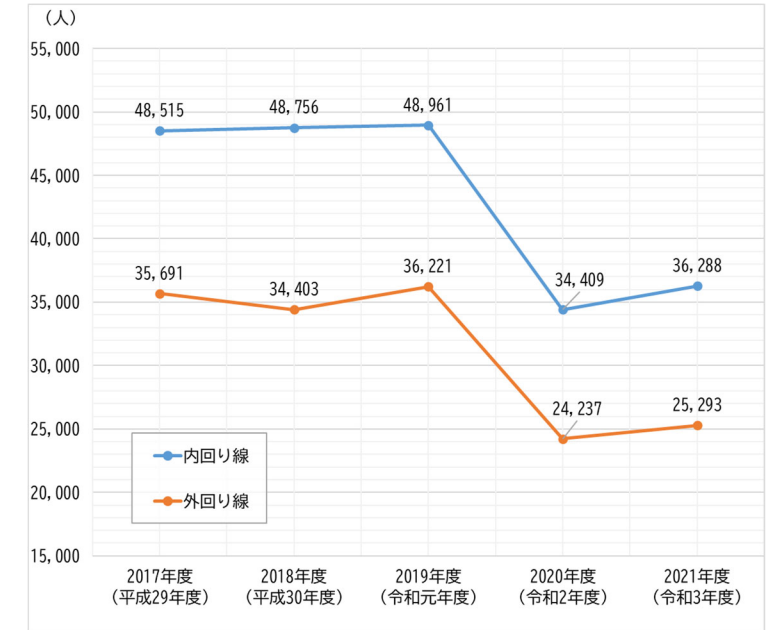
バス路線図

#### 3-2 路線バス・鉄道の利用状況

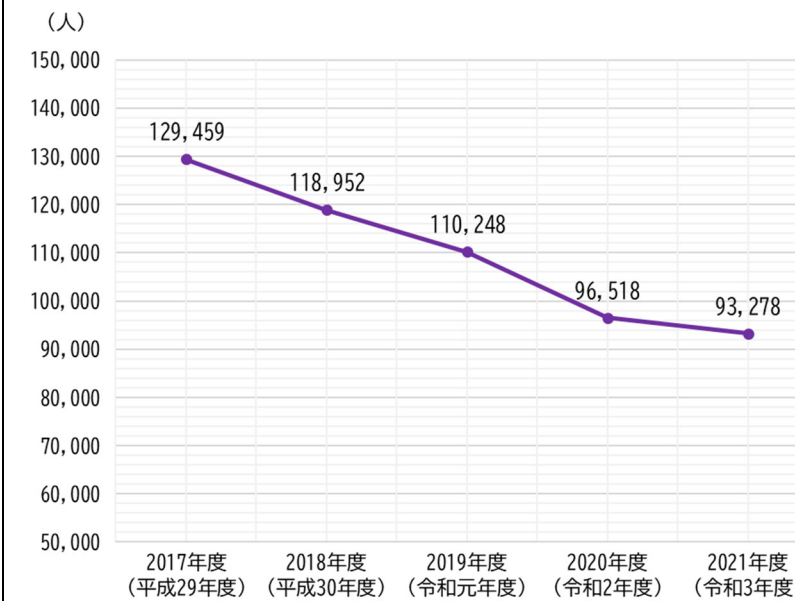
2020年（令和2年）以降は新型コロナウイルスの影響により、路線バス・鉄道ともに利用者が大きく減少しています。



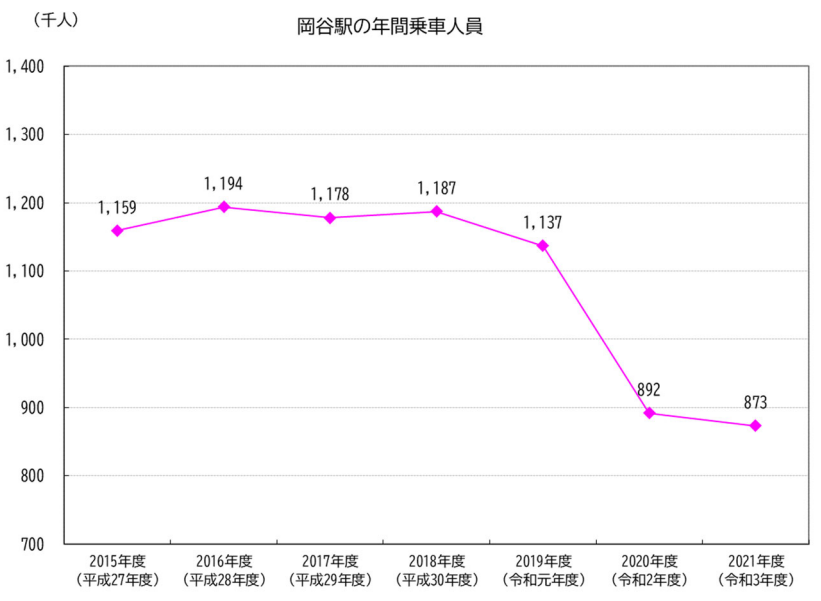
シルキーバスの利用者数



スワンバスの利用者数



岡谷茅野線の利用者数



鉄道の利用者数 (岡谷駅)

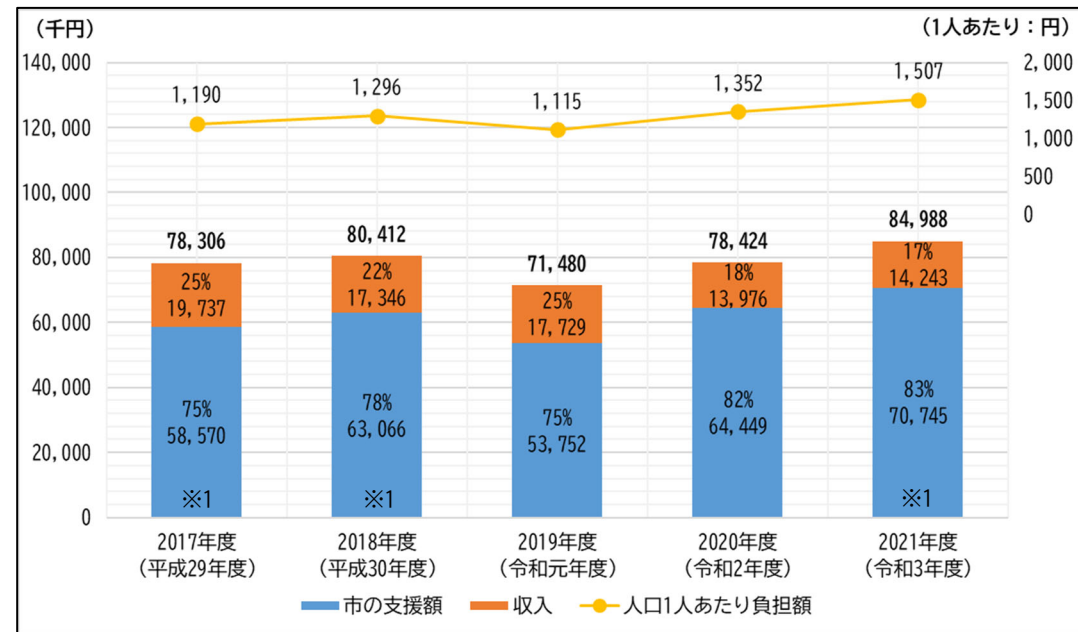
出典：鉄道は東日本旅客鉄道株式会社 企業情報ウェブサイト (各駅の乗車人員)、バスは岡谷市資料

### 3-3 岡谷市の財政負担

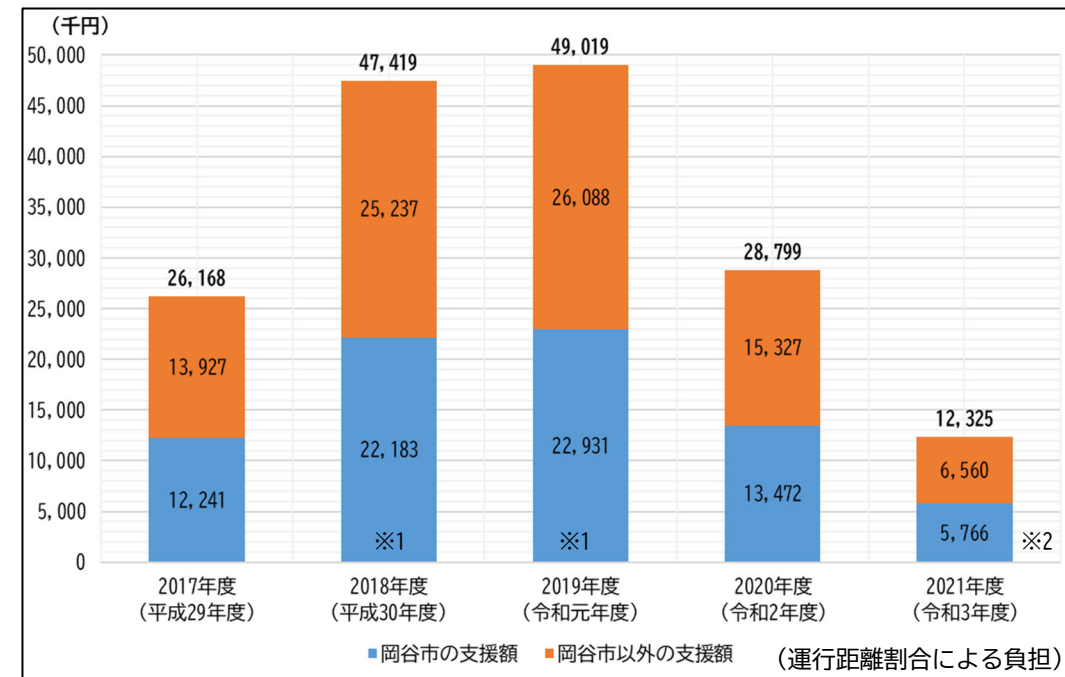
#### (1) 岡谷市の状況

岡谷市内を運行するシルキーバスについて、市では経常収支赤字額に対し支援をしており、経費のおよそ7～8割を支援しています。また、人口1人あたりの財政負担額では、2021年度（令和3年度）ではおよそ1,500円となっています。

岡谷市・諏訪市・下諏訪町で共同運行するスワンバスについては、経常収支赤字額に対し、2021年度（令和3年度）の岡谷市では約577万円を支援しており、シルキーバスと合わせて約7,651万円を支援しています。



シルキーバスの経費内訳及び人口1人あたりの財政負担額



スワンバスへの支援額

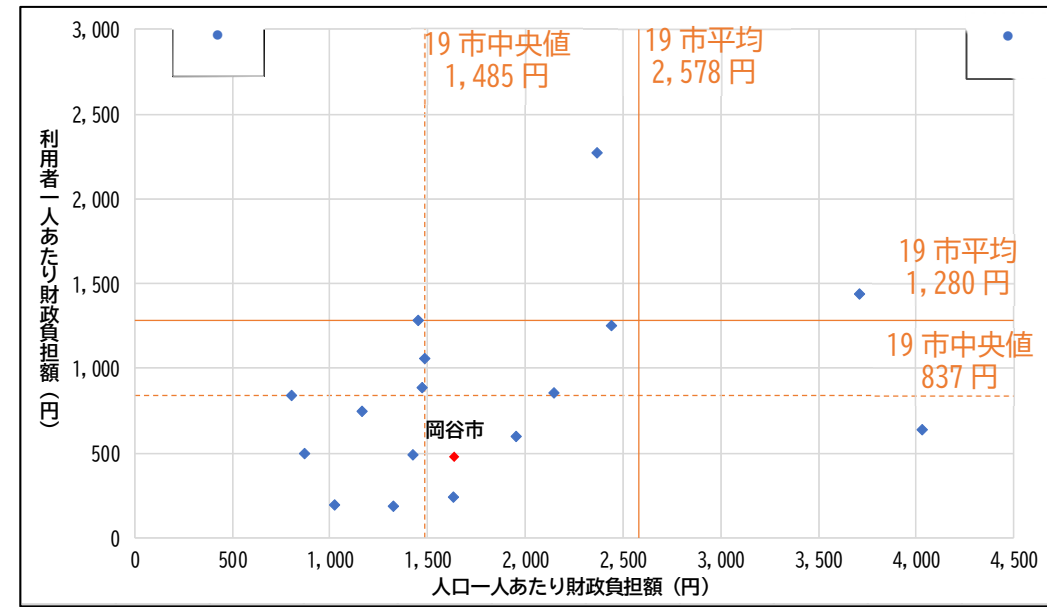
※1：バスの車両更新費用を含む、※2：地域間幹線系統補助金を含む

出典：岡谷市資料

#### (2) 県内の他市との比較※（2021年度（令和3年度））

岡谷市の人口一人あたり財政負担額は1,640円、利用者一人あたり財政負担額は469円となっています。一方、県内19市の中央値は、人口一人あたり財政負担額は1,485円、利用者一人あたり財政負担額は837円でした。これらと比較すると岡谷市は、人口一人あたりの財政負担は19市中央値を上回っていますが、利用者一人あたりの財政負担額は中央値を下回っています。

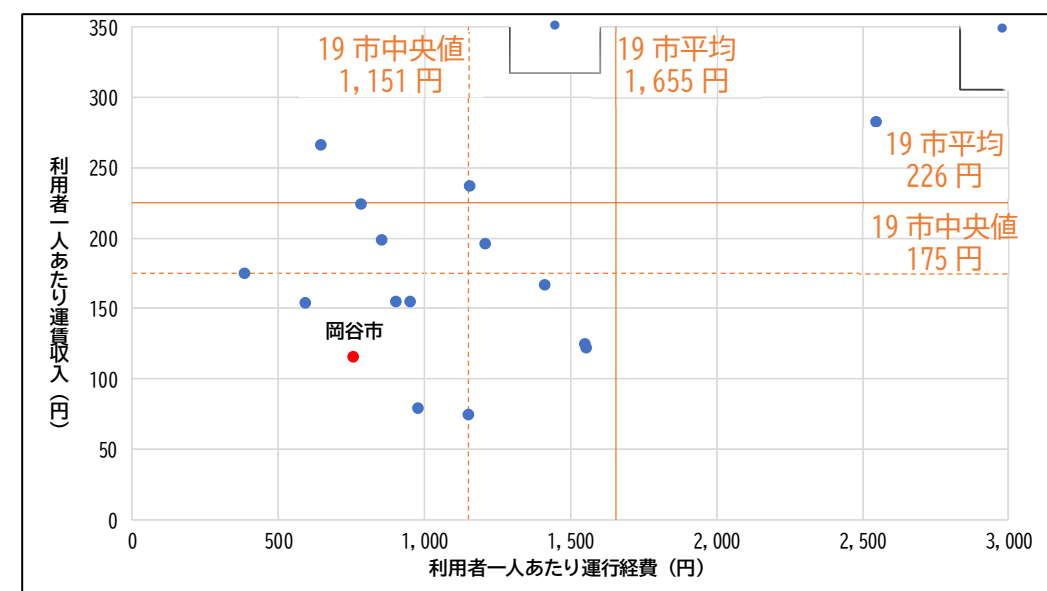
なお、可住地面積（公共交通を維持させるエリアの広さ）は、19市平均が110km<sup>2</sup>であるのに対し、岡谷市はその2割にあたる約22km<sup>2</sup>であるため、他市に比べてコンパクトな都市といえます。利用者一人あたりの運行経費の19市平均（1,655円）と比較すると、岡谷市の利用者一人あたりの経費（759円）は19市平均の約半分となります。



県内19市の人口一人あたり・利用者一人あたりの財政負担額

岡谷市を含めた県内19市に対し、  
 ・運行形態、路線数、運行便数  
 ・年間利用者数  
 ・運行経費、運賃収入、国庫補助金額、財政負担額  
 等の調査を実施

岡谷市の利用者一人あたり運賃収入は115円、利用者一人あたり運行経費は759円となっています。19市の中央値は、利用者一人あたり運賃収入が175円、利用者一人あたり運行経費は1,151円でした。これらと比較すると、運賃収入、運行経費ともに19市中央値を下回っています。



県内19市の利用者一人あたりの運行経費・運賃収入

出典：岡谷市資料

※なお、各市のバス運行に対する支援状況等は様々であるため、参考資料の一つとして整理しています。

# 住民アンケート調査

## 1. 調査概要

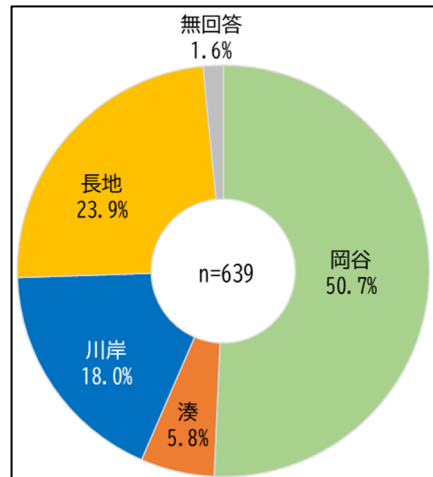
調査期間	2022年（令和4年）9月8日（木）～ 2022年（令和4年）9月25日（日）
配布回収方法	郵送による配布・回収
配布数	1,700世帯
回収数	639世帯（1,917人）※
回収率	37.6%

※設問内容により、個人（1世帯で最大3人まで）に問う設問あり。

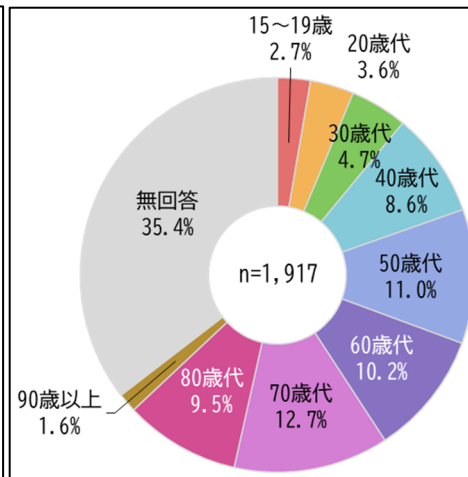
## 2. 調査結果

### 2-1 回答者の構成

集計地域	該当する地区
岡谷	今井区・間下区・岡谷区・下浜区・小尾口区・上浜区・新屋敷区・小口区・小井川区・西堀区
湊	小坂区・花岡区
川岸	三沢区・新倉区・駒沢区・鮎沢区・橋原区
長地	東堀区・中屋区・中村区・横川区

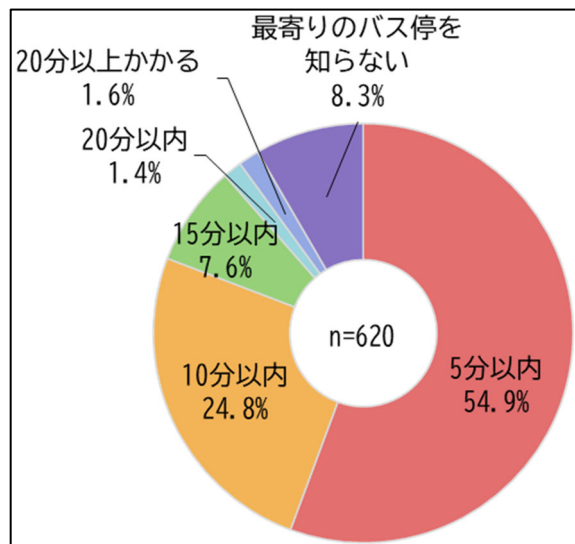


回答世帯の地域別構成比



回答者の年齢別構成

### 2-2 バス停までの徒歩時間

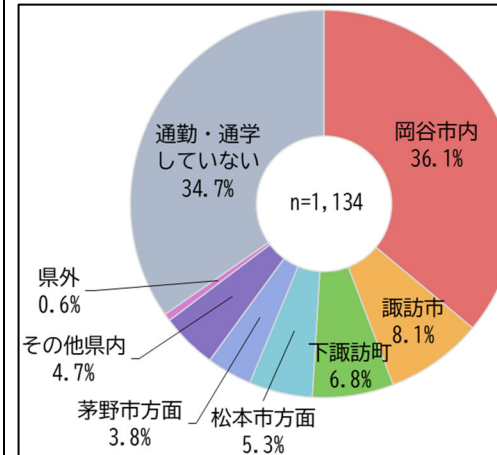


### バス停までの徒歩時間

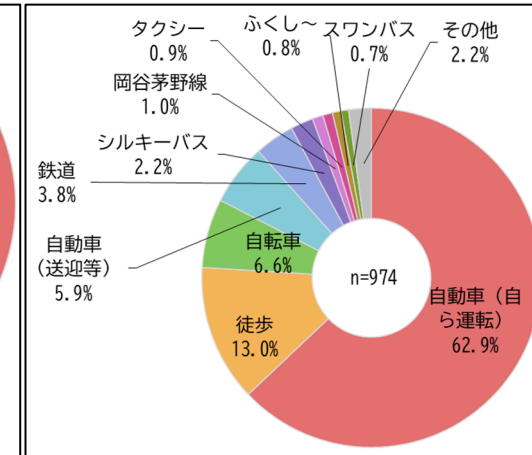
バス停までの徒歩時間について、「5分以内」、「10分以内」の順に多くなっています。

## 2-3 普段の外出行動

### (1) 通勤・通学



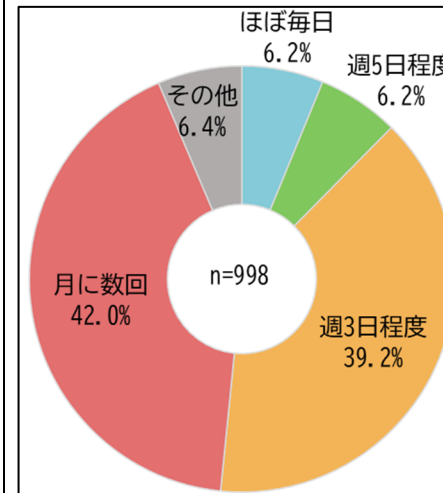
通勤・通学先



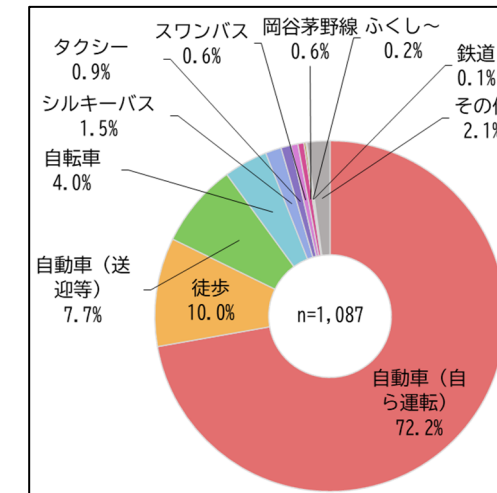
通勤・通学で利用する交通手段

- 「岡谷市内」のほか、近隣都市への通勤・通学もみられます。
- 交通手段では、「自動車（自ら運転）」といった公共交通以外の回答が8割を超えています。

### (2) 買い物



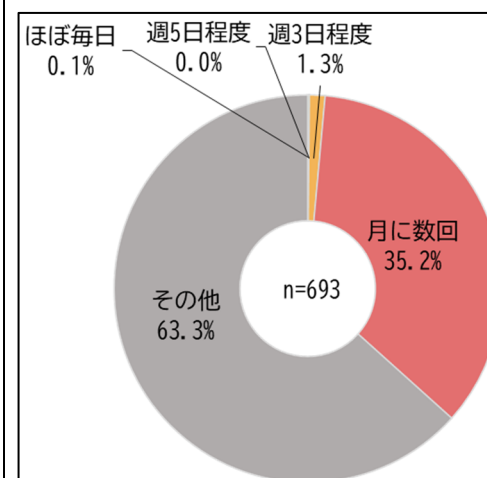
買い物の頻度



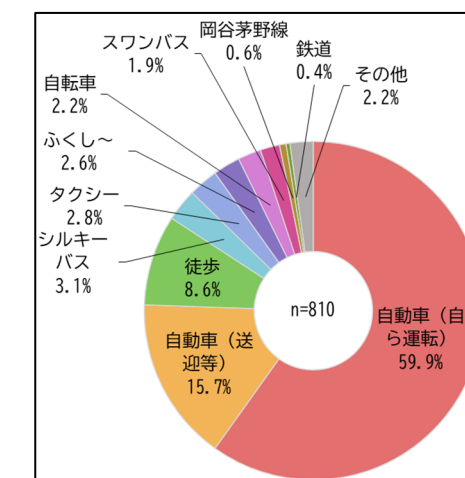
買い物で利用する交通手段

- 買い物の頻度では、「月に数回」が最多となっています。
- 交通手段では、「自動車（自ら運転）」といった公共交通以外の回答が8割を超えています。

### (3) 通院



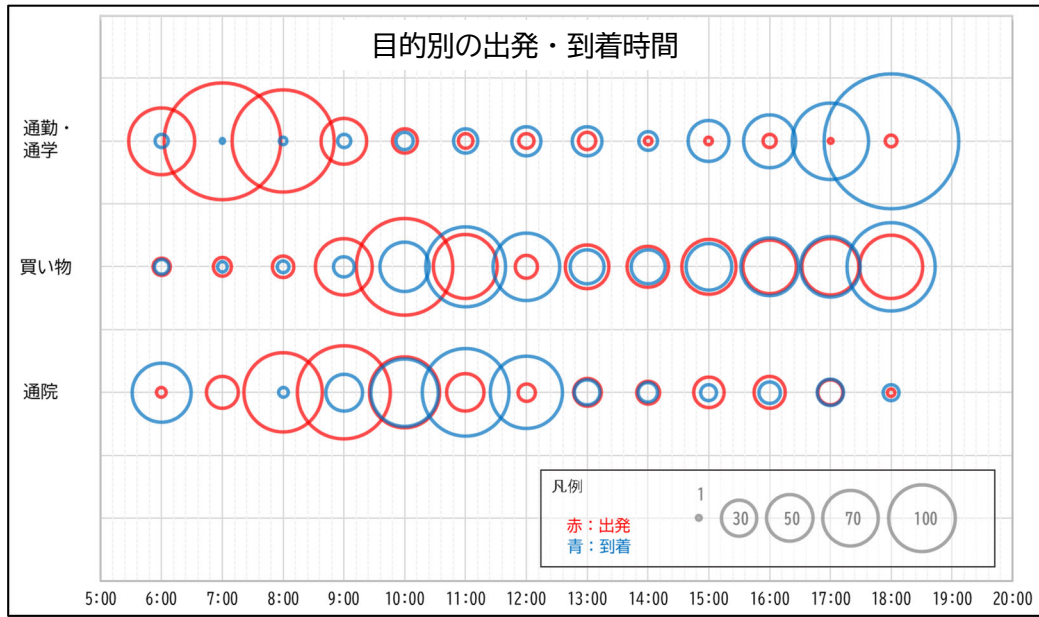
通院の頻度



通院で利用する交通手段

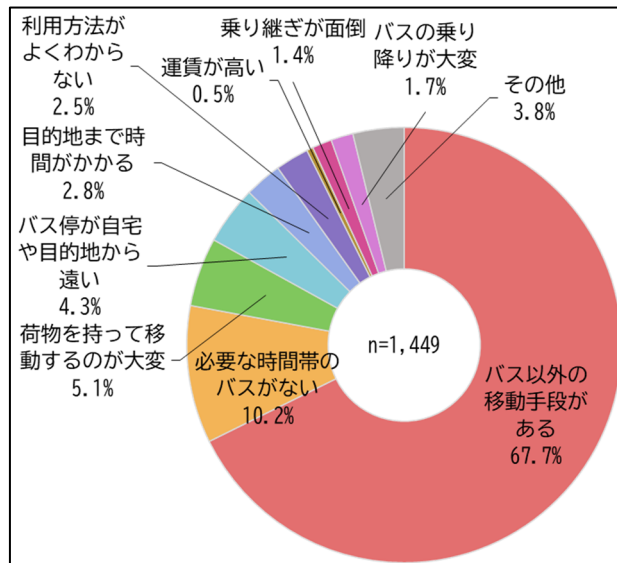
- 通院の頻度では、「月に数回」が最多となっています。
- 交通手段では、「自動車（自ら運転）」といった公共交通以外の回答が8割を超えています。

## 2-4 外出時の出発・到着時間



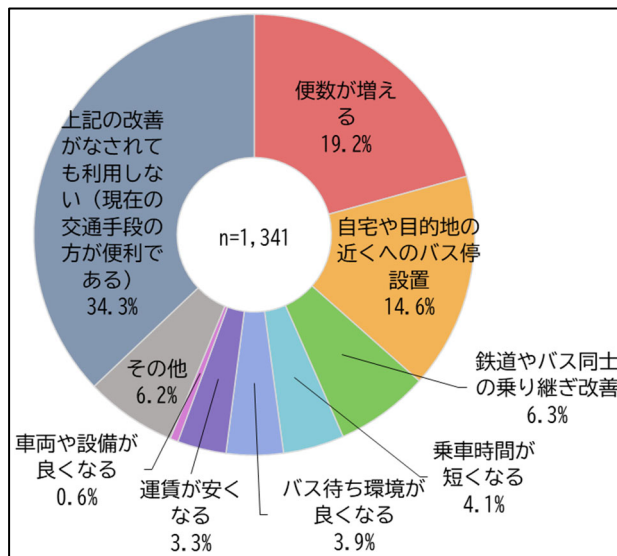
- 通勤・通学では、出発は7時、到着は18時がピークとなります。
- 買い物では、出発・到着ともに10時や18時頃が多くなっています。
- 通院では、出発・到着の両ピークが午前中に集中しています。

## 2-5 バスの利用について



### 利用しない理由

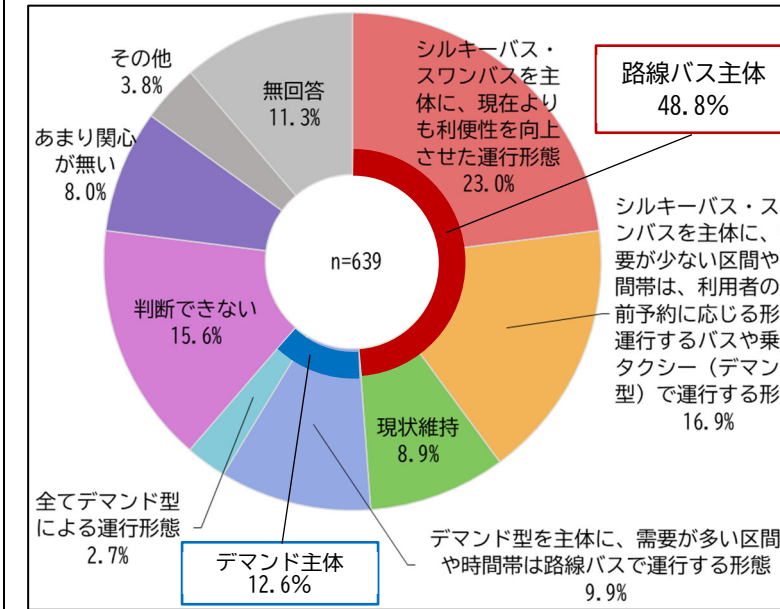
- 市内のバスをほとんど利用しない（月1回以上の利用がない）方について、利用しない理由では、「バス以外の移動手段がある」が最多となっており、「運賃が高い」との回答は少なくなっています。



### 利用したいと思える条件

- どのような条件が整えばバスを利用したいかについては、「改善がなされても利用しない（現在の交通手段の方が便利である）」との回答が最多となっており、改善が望まれる条件では、「便数が増える」や「自宅や目的地の近くへのバス停設置」といった回答が多くなっています。

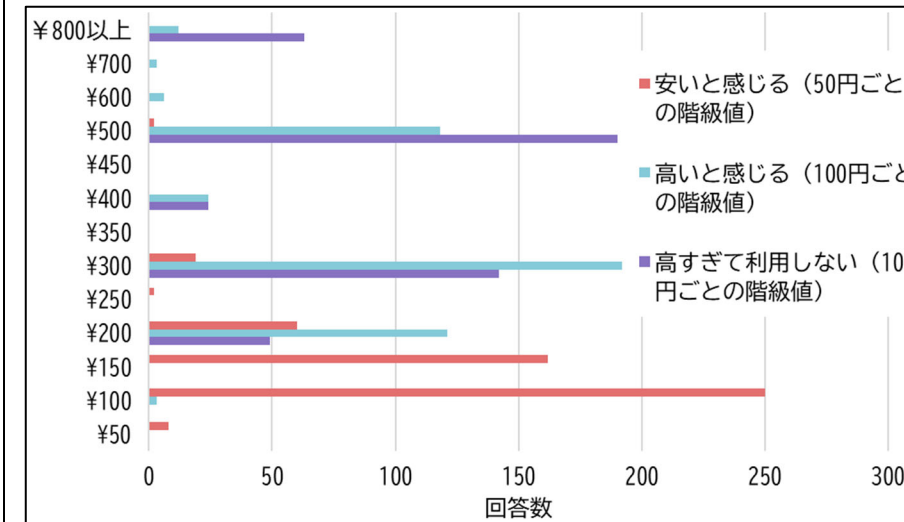
## 2-6 市内のバスの理想像



### 岡谷市のバスの理想像

- 岡谷市のバスについて、将来的な運用形態として、路線バス（定時定路線型）の運行を主体に望む声が多くなっています。
- 一方で、デマンド型交通を主体に望む回答は1割程、「現状維持」との回答は1割未満となっています。

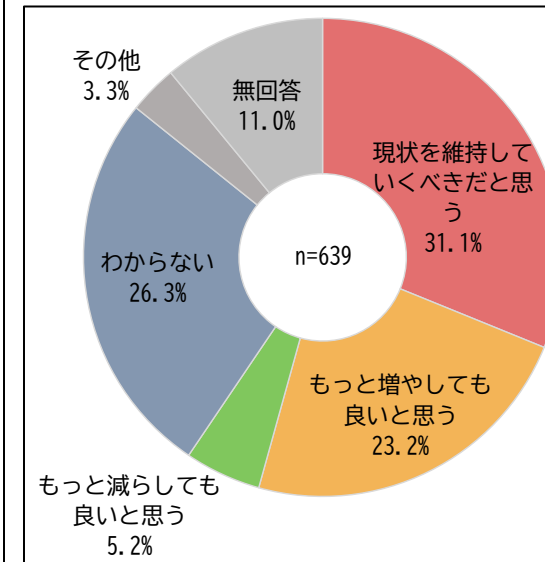
## 2-7 理想的な運賃



市内の路線バスの運賃について、回答が最大の金額帯は以下の通りです。

- ・安いと感じる ⇒ 100円以下
- ・高いと感じる ⇒ 200～300円付近
- ・高すぎて利用しない ⇒ 500円以上

## 2-8 公共交通の経費（歳出額）について



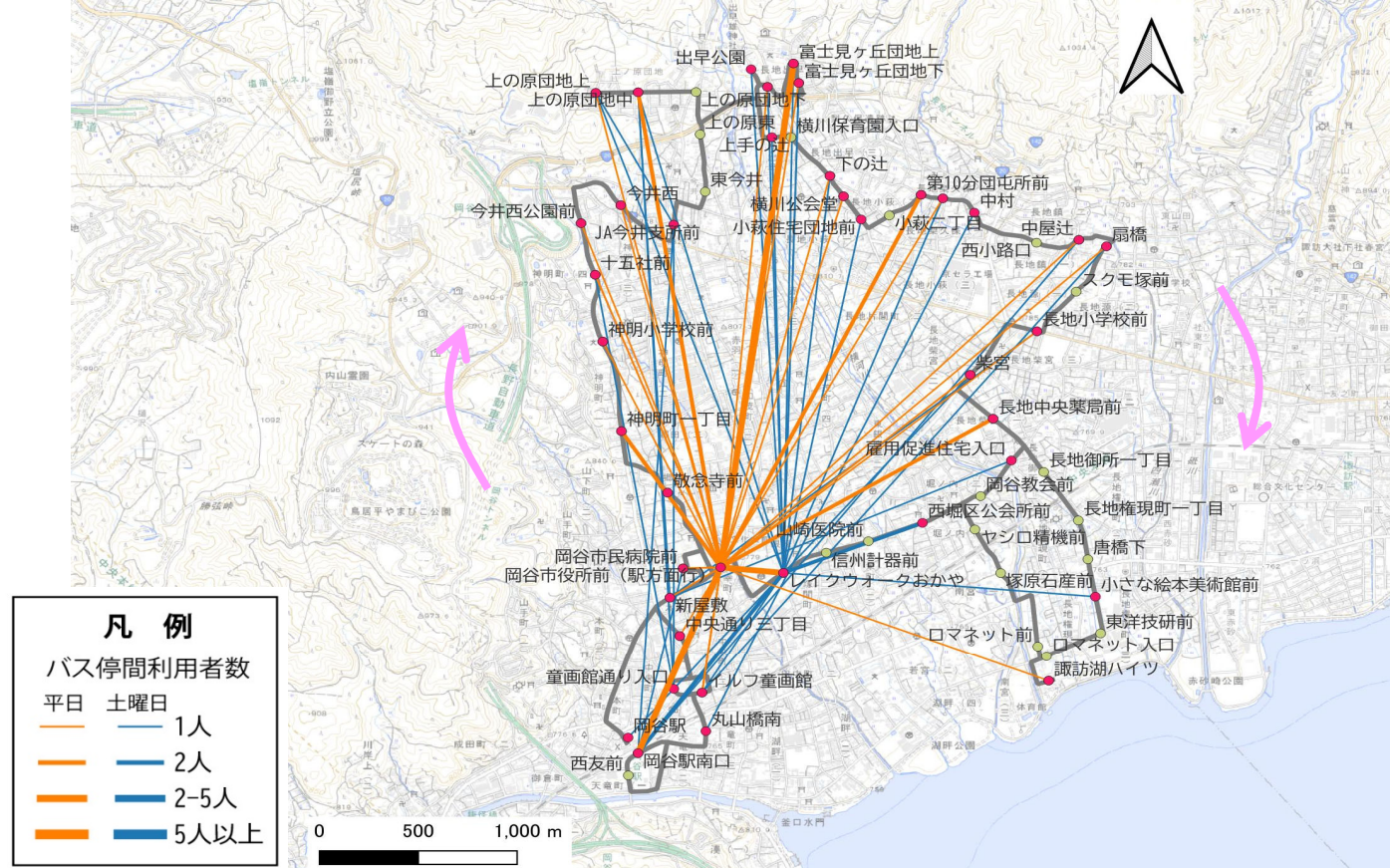
### 岡谷市の公共交通に対する経費の方向性

- 市の公共交通に対する経費について、「現状を維持していきべきだと思う」との回答が最多となっています。
- 変更を望む回答では、「もっと増やしても良いと思う」との回答が、「もっと減らしても良いと思う」よりも多くなっています。

路線評価一覧表

①今井・長地線

<運行経路、調査結果0D流動>



**凡例**

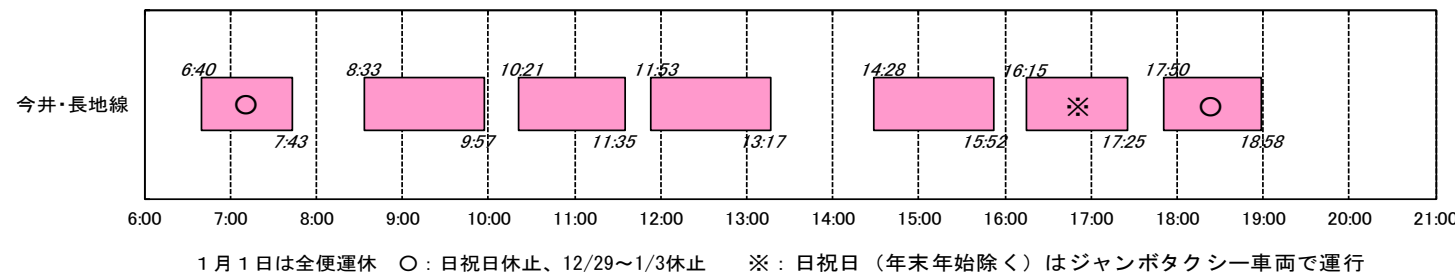
バス停間利用者数

平日	土曜日
1人	1人
2人	2人
2-5人	2-5人
5人以上	5人以上

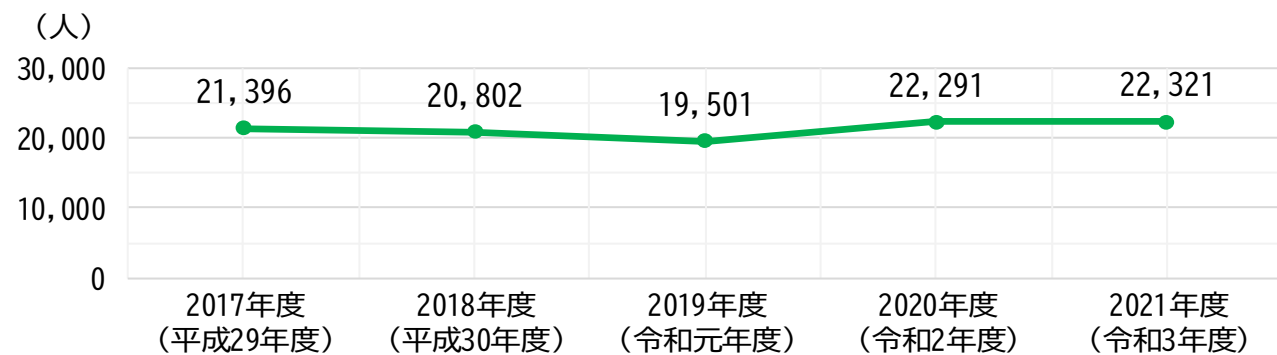
<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
ジェイアールバス関東(株) アルビコタクシー(株)	岡谷駅南口	岡谷駅南口	19.9km	2,411回	150円

<運行ダイヤ>



<利用状況の推移>



<収支、利用状況等>

2021年度(令和3年度実績)

運行経費	17,928千円	※年間運行距離をもとに按分
運賃収入	3,131千円	※年間利用者数をもとに按分
行政負担額	14,797千円	
年間利用者数	22,321人	
日平均利用者数	61.2人/日	
1便平均利用者数	9.3人/便	
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	23,012人	※バス停から半径300m圏内人口

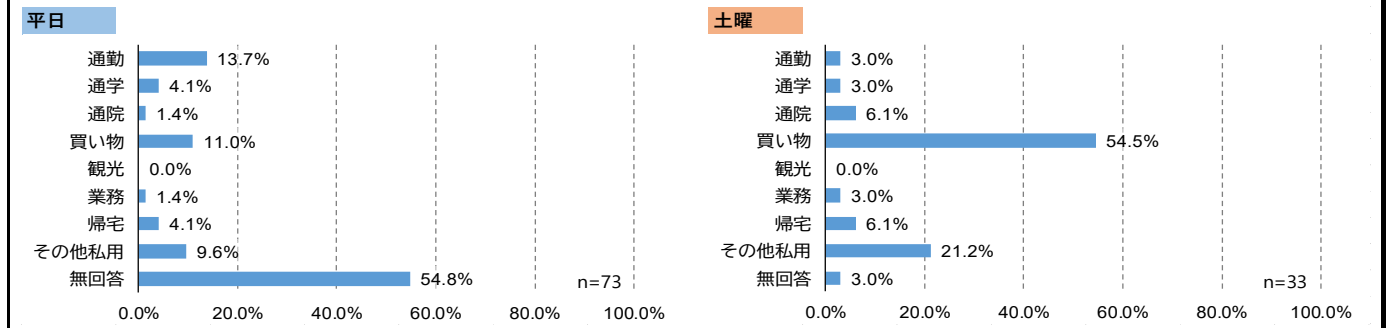
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4	休日:R4.10.1
利用者数	平日:73人	休日:33人

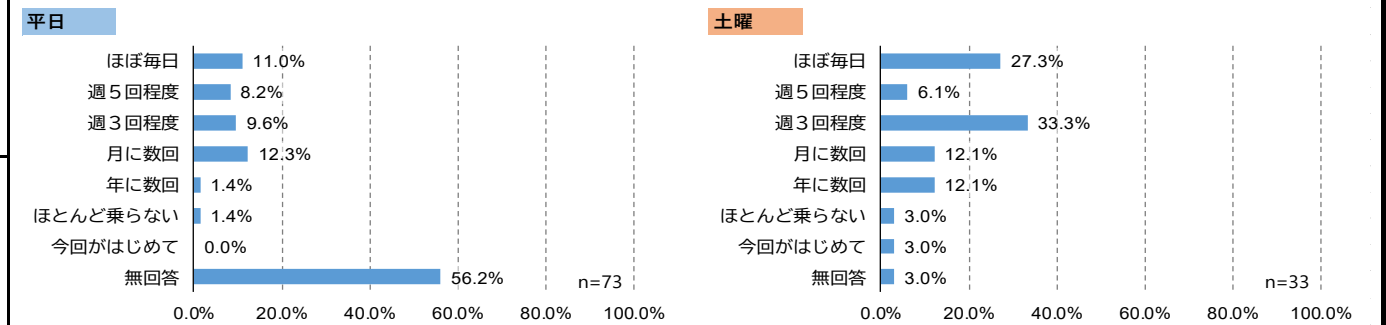
<利用目的>

平日は「通勤」「買物」、土曜日は「買物」が主な利用目的。



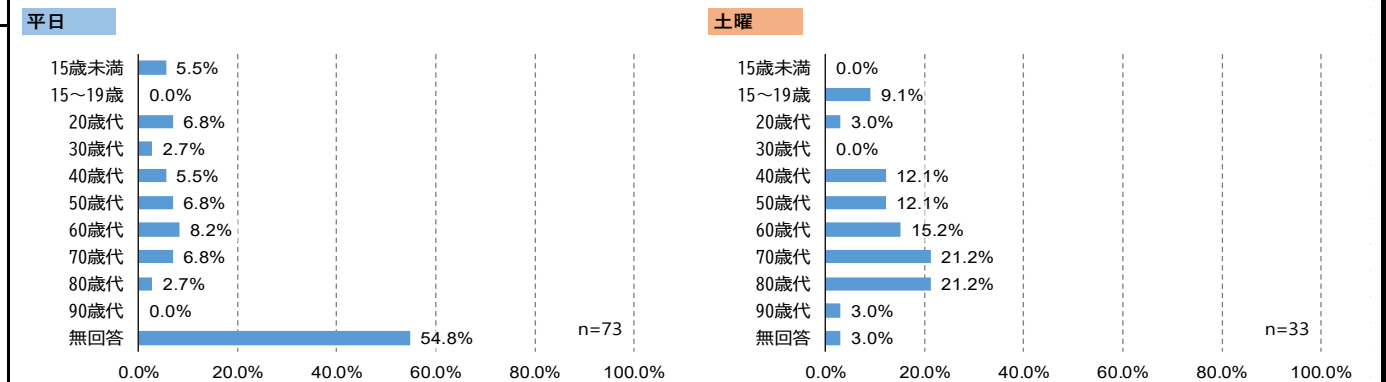
<利用頻度>

ほぼ毎日の他、週に数回の利用が多い。



<年齢>

15歳未満から80歳代まで幅広い年代が利用している。土曜日は、高齢者の利用がやや多め。

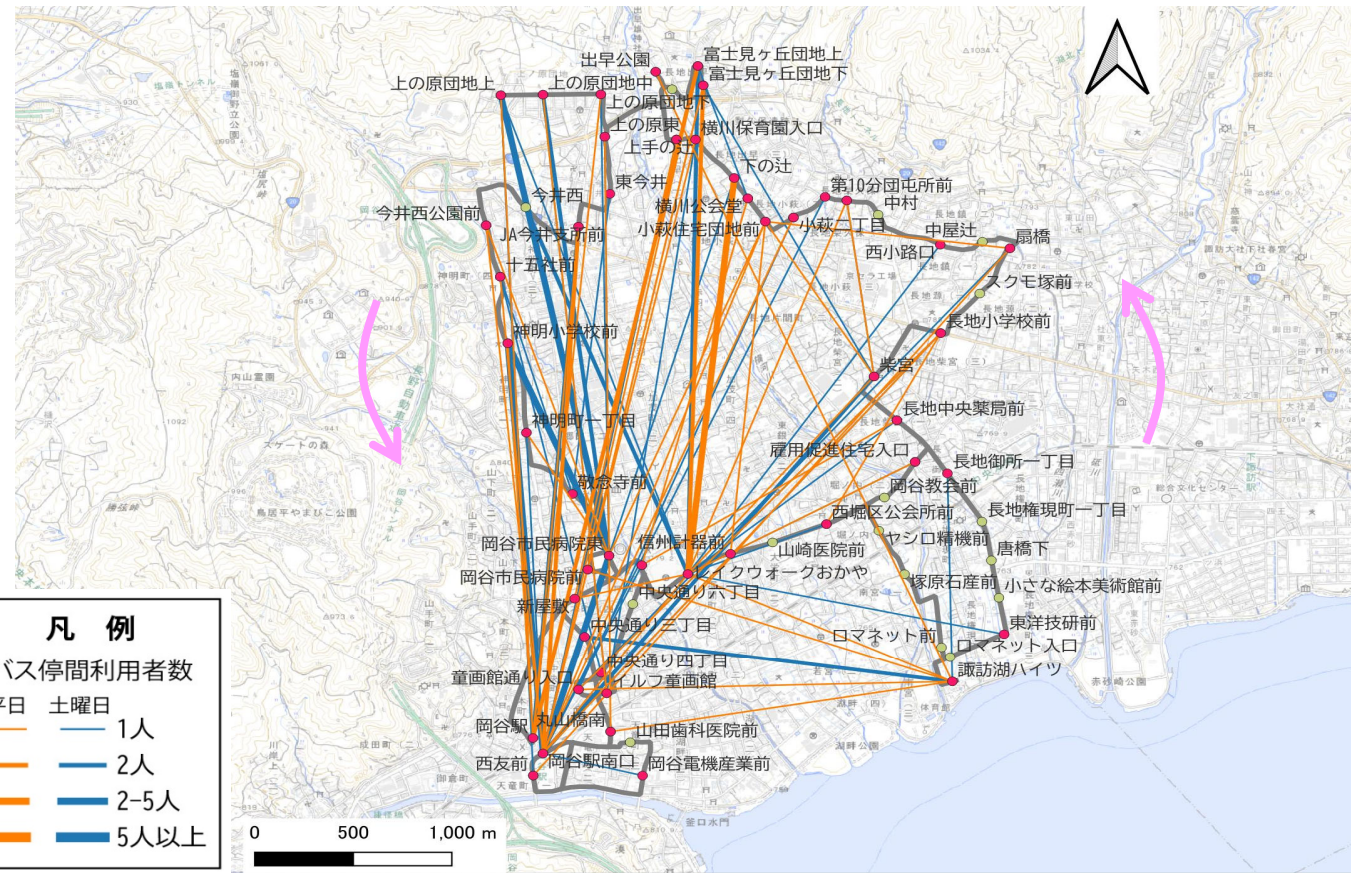




路線評価一覧表

②長地・今井線

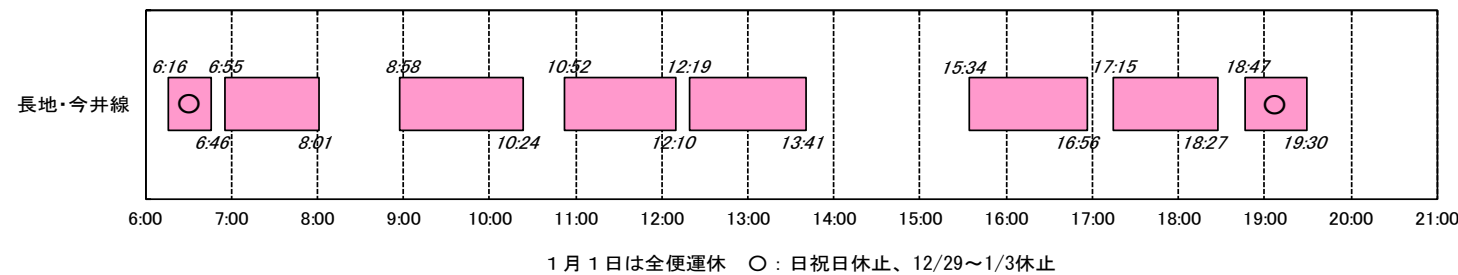
<運行経路、調査結果OD流動>



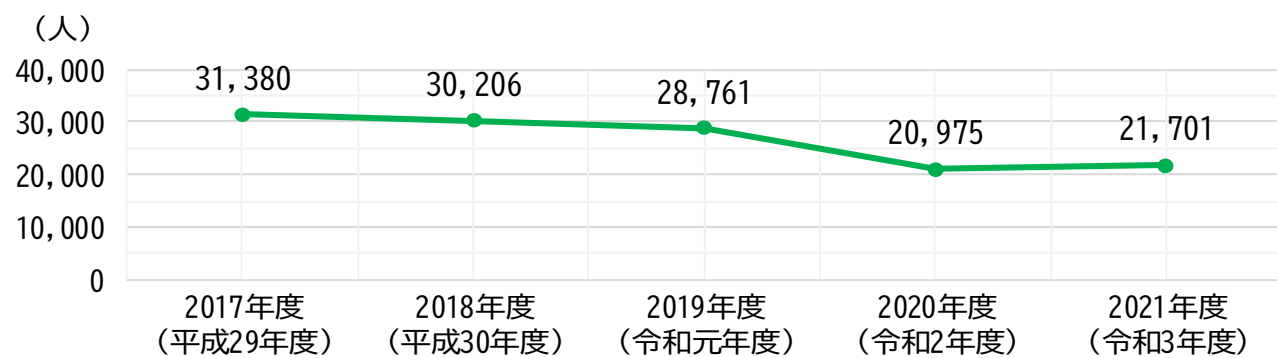
<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
アルピコタクシー (株)	岡谷駅南口	岡谷駅南口	20.2km	2,776 回	150円

<運行ダイヤ>



<利用状況の推移>



<収支、利用状況等>

2021年度(令和3年度実績)

運行経費	20,954 千円	※年間運行距離をもとに按分
運賃収入	3,044 千円	※年間利用者数をもとに按分
行政負担額	17,910 千円	
年間利用者数	21,701 人	
日平均利用者数	59.5 人/日	
1便平均利用者数	7.8 人/便	
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	23,577 人	※バス停から半径300m圏内人口

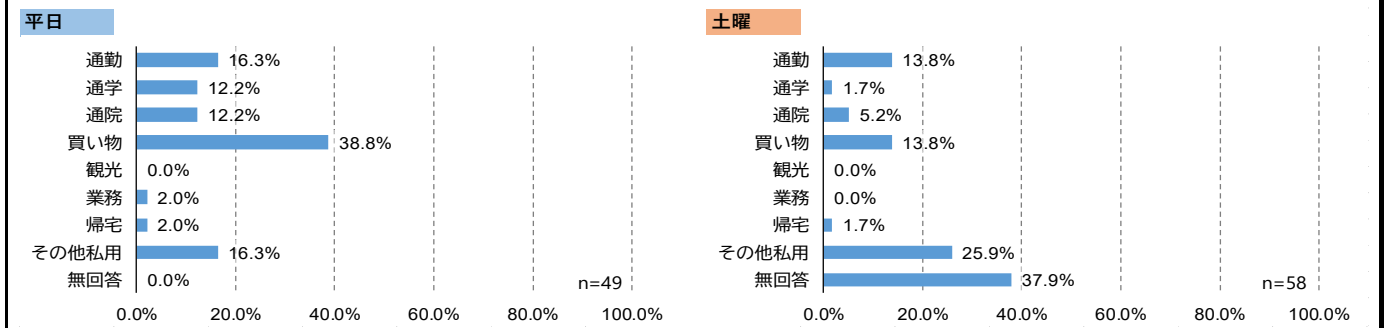
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4	休日:R4.10.1
利用者数	平日:49人	休日:58人

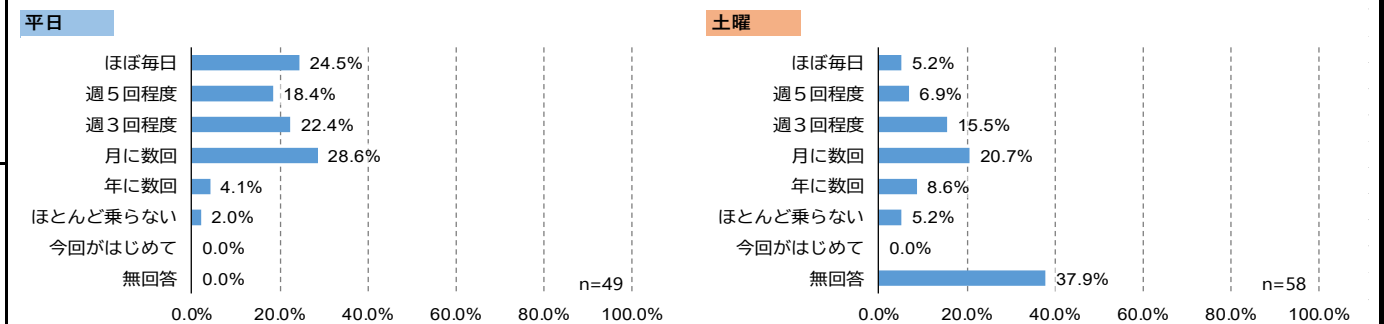
<利用目的>

平日は「買物」「通勤」「通学」「通院」、土曜日は「通勤」「買物」「その他私用」が主な利用目的。



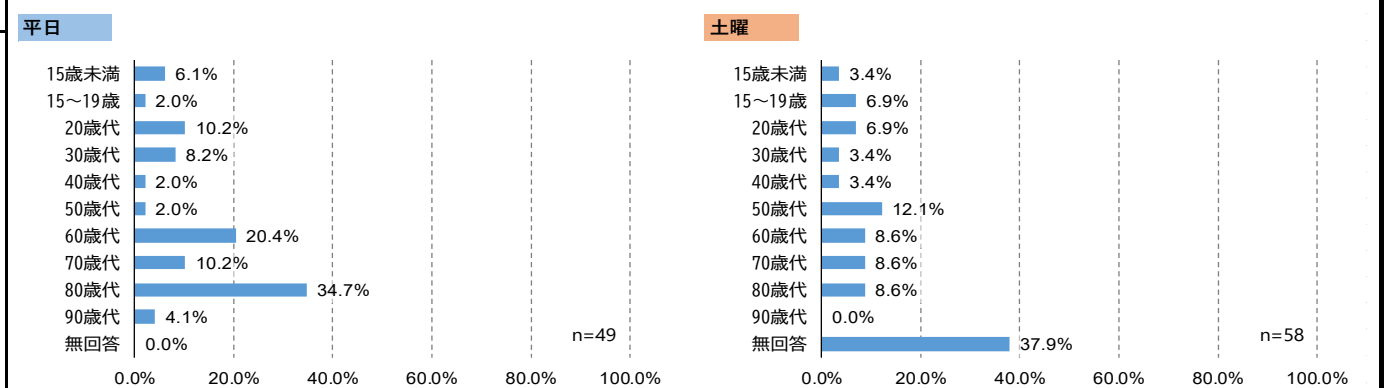
<利用頻度>

週に数回の利用者が多い他、月に数回もみられる。



<年齢>

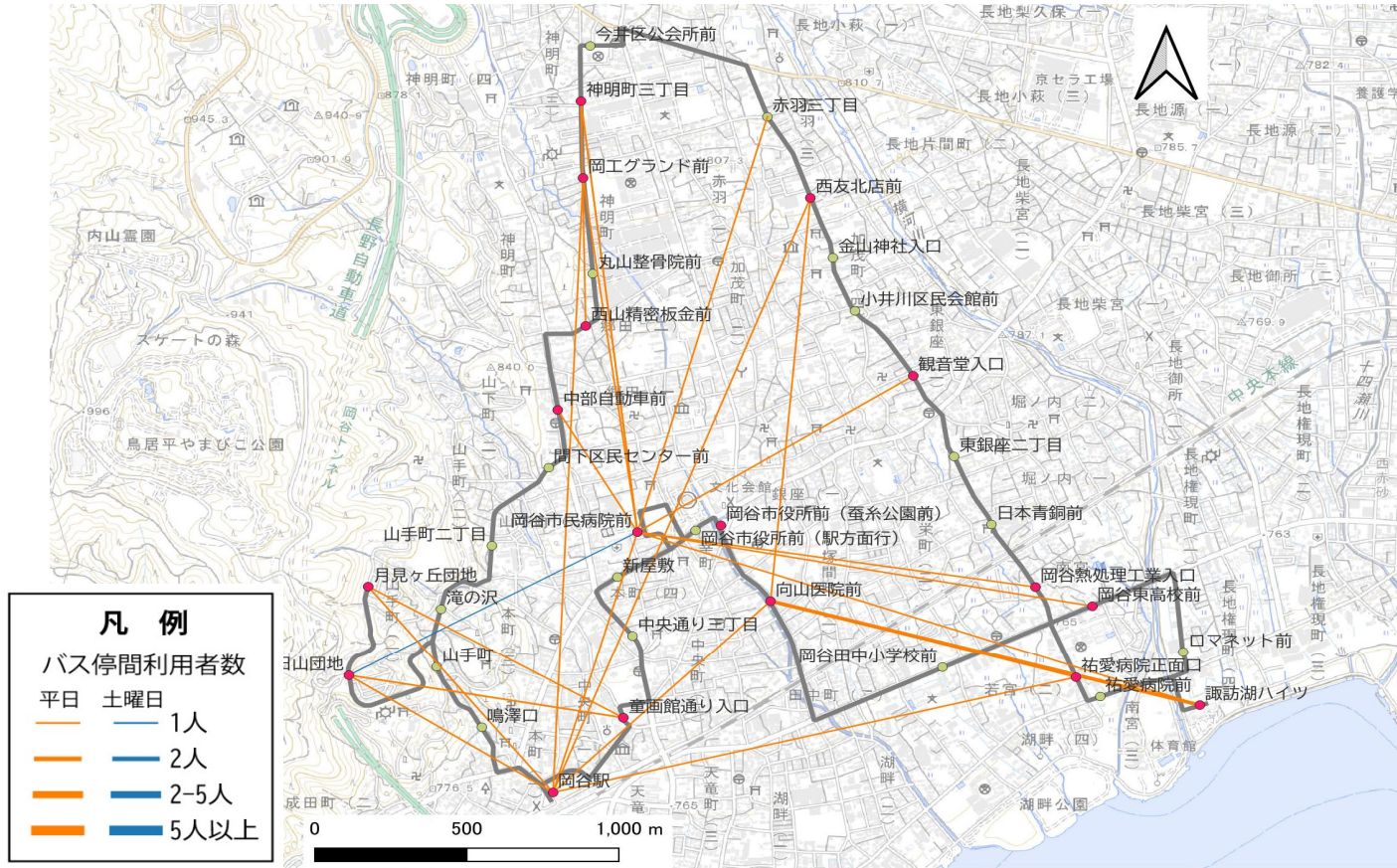
平日は80歳代、60歳代の利用者が多く、土曜日は50歳代から80歳代の利用が多くなっている。



路線評価一覧表

3市街地循環西ルート線

<運行経路、調査結果0D流動>



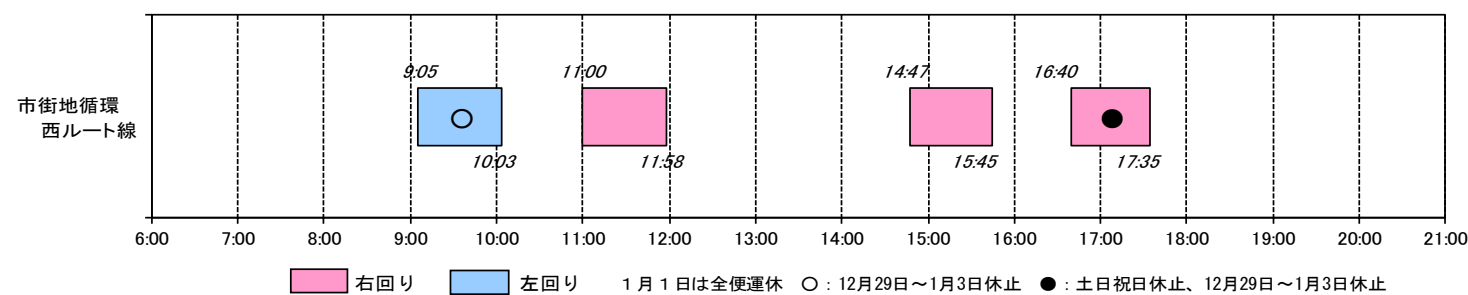
**凡例**  
バス停留利用者数  
平日 土曜日

- 1人 (orange)
- 2人 (red)
- 2-5人 (yellow)
- 5人以上 (green)

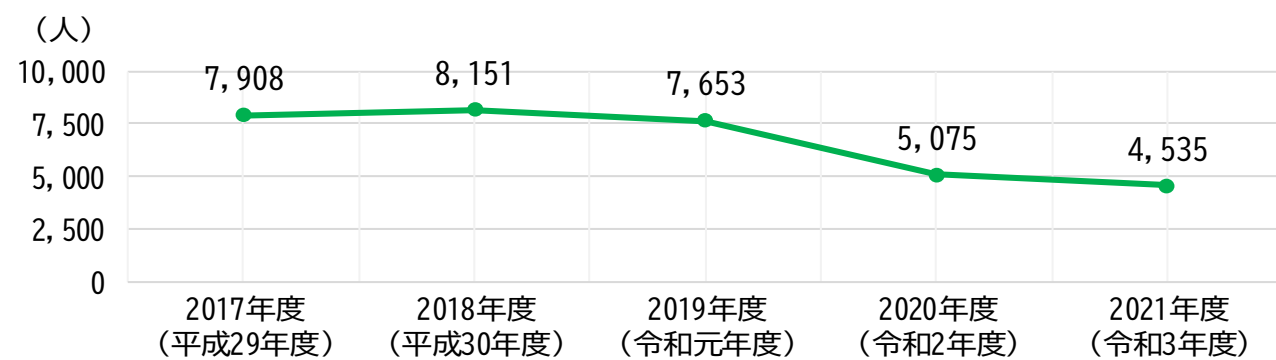
<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
アルピコタクシー (株)	岡谷市民病院前	岡谷市民病院前	13.4km	1,330回	150円

<運行ダイヤ>



<利用状況の推移>



<収支、利用状況等>

2021年度(令和3年度実績)

運行経費	6,660 千円	※年間運行距離をもとに按分
運賃収入	636 千円	※年間利用者数をもとに按分
行政負担額	6,024 千円	
年間利用者数	4,535 人	
日平均利用者数	12.4 人/日	
1便平均利用者数	3.4 人/便	
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	16,024 人	※バス停から半径300m圏内人口

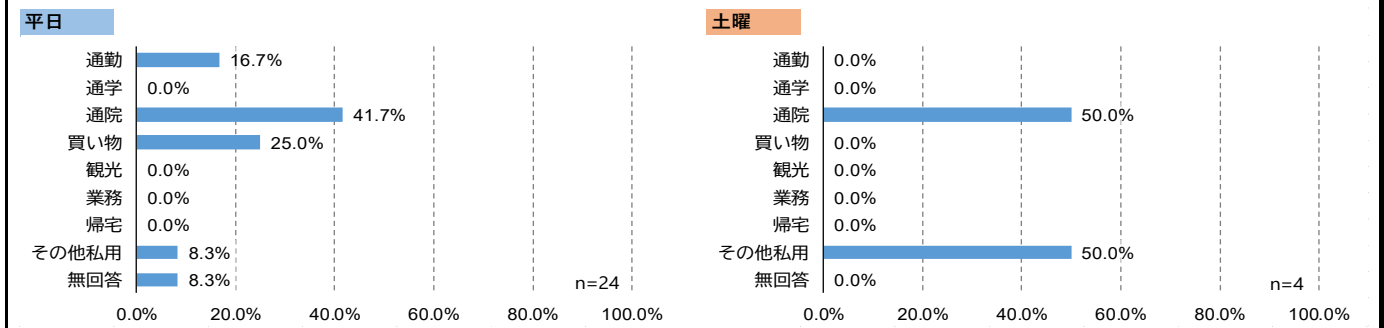
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4	休日:R4.10.1
利用者数	平日:24人	休日:4人

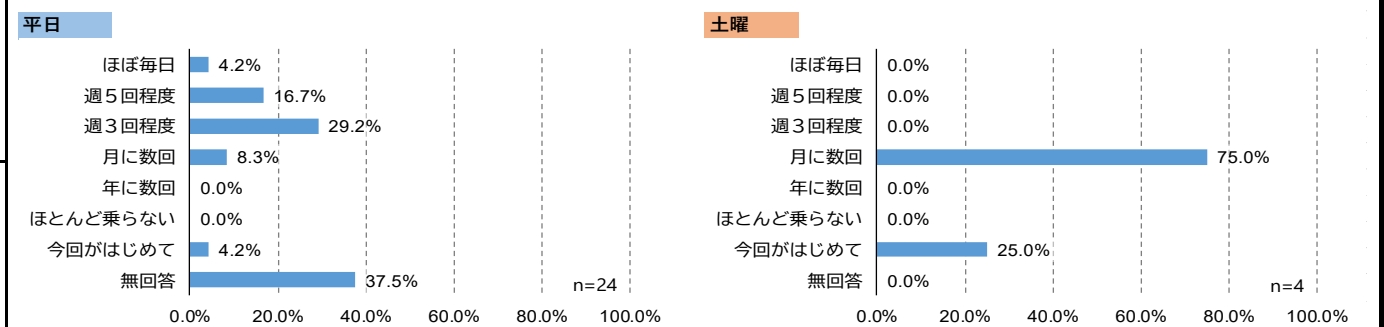
<利用目的>

平日は「通院」「買物」「通勤」、土曜日は「通院」「その他私用」が主な利用目的。



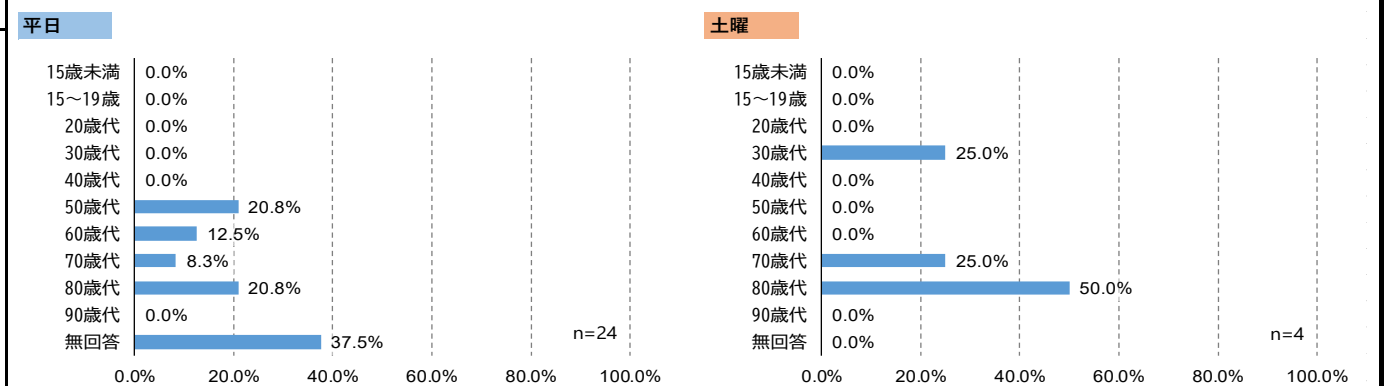
<利用頻度>

平日は、週に3~5回の利用者が多い他、月に数回もみられる。土曜日は月に数回。



<年齢>

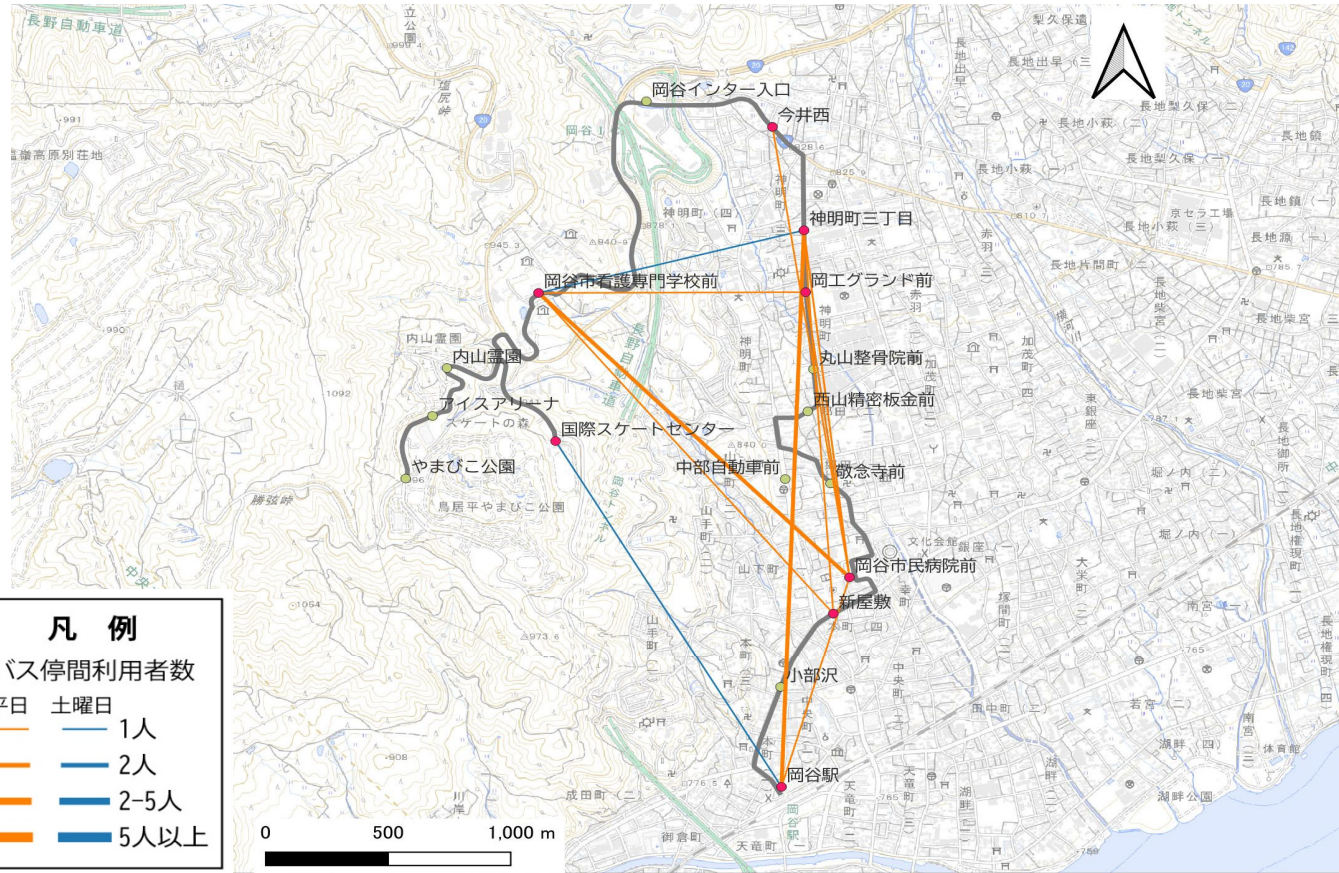
平日は50~80歳代が利用、土曜日は30歳代、70~80歳代が利用。



路線評価一覧表

4 やまびこ公園線

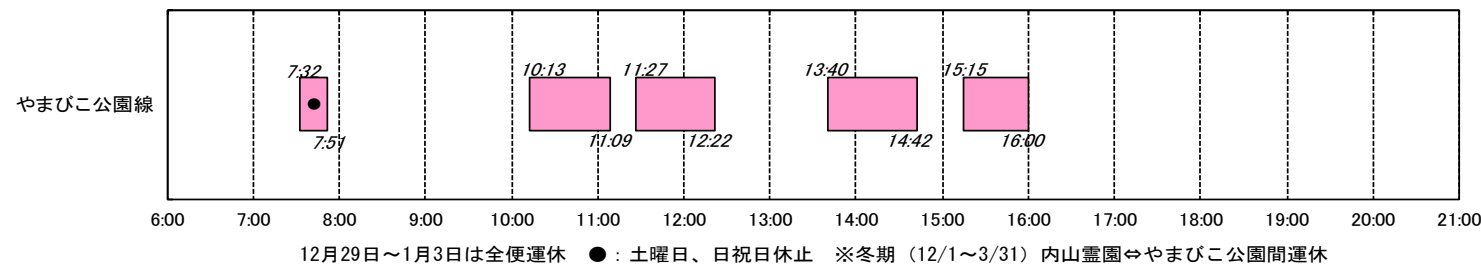
<運行経路、調査結果0D流動>



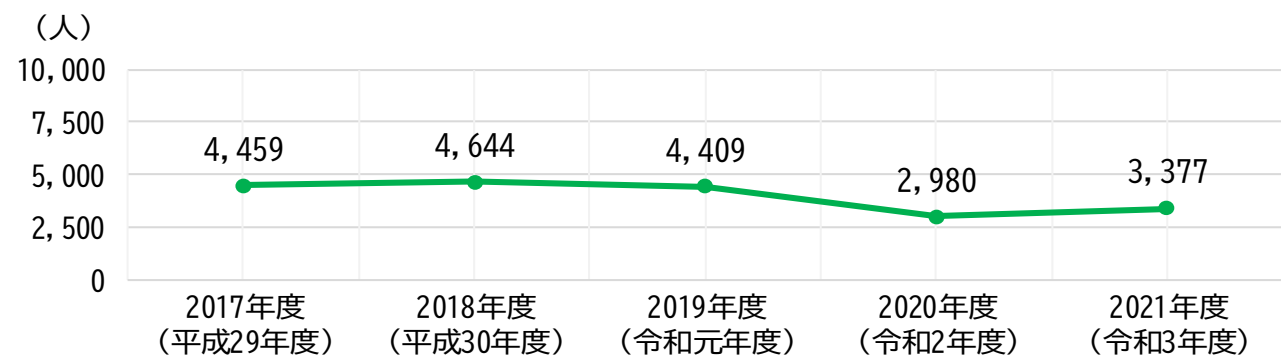
<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
アルピコタクシー (株)	岡谷駅	やまびこ公園	8.5km	1,682 回	150円

<運行ダイヤ>



<利用状況の推移>



<収支、利用状況等>

2021年度(令和3年度実績)

運行経費	5,342 千円	※年間運行距離をもとに按分
運賃収入	474 千円	※年間利用者数をもとに按分
行政負担額	4,868 千円	
年間利用者数	3,377 人	
日平均利用者数	9.4 人/日	
1便平均利用者数	2.0 人/便	
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	6,940 人	※バス停から半径300m圏内人口

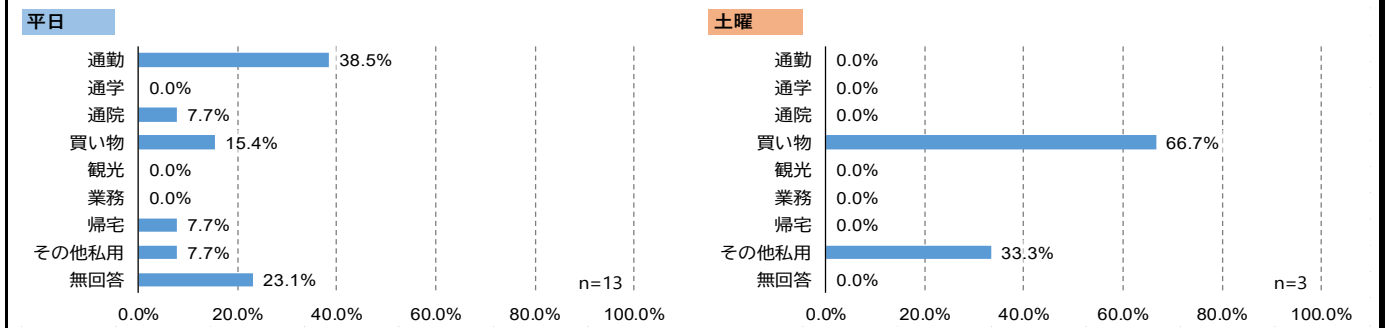
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4	休日:R4.10.1
利用者数	平日:13人	休日:3人

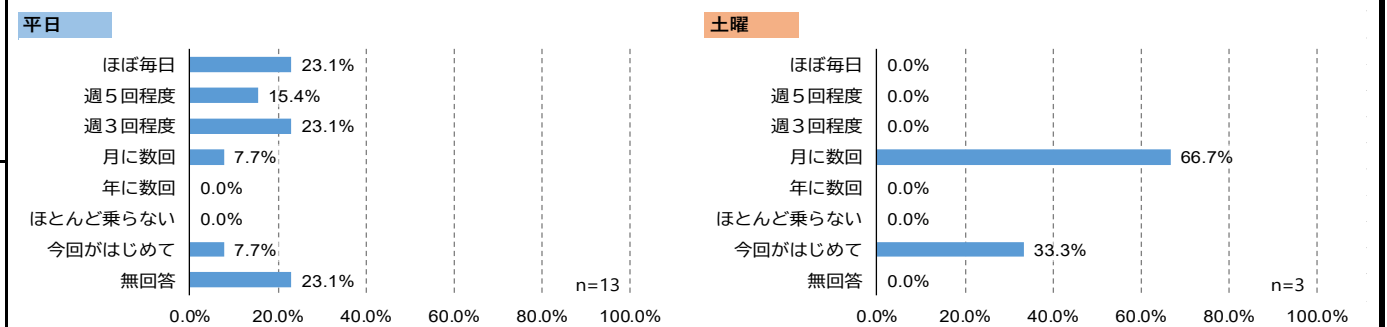
<利用目的>

平日は「通勤」「買物」「通院」など、土曜日は「買物」等でした。



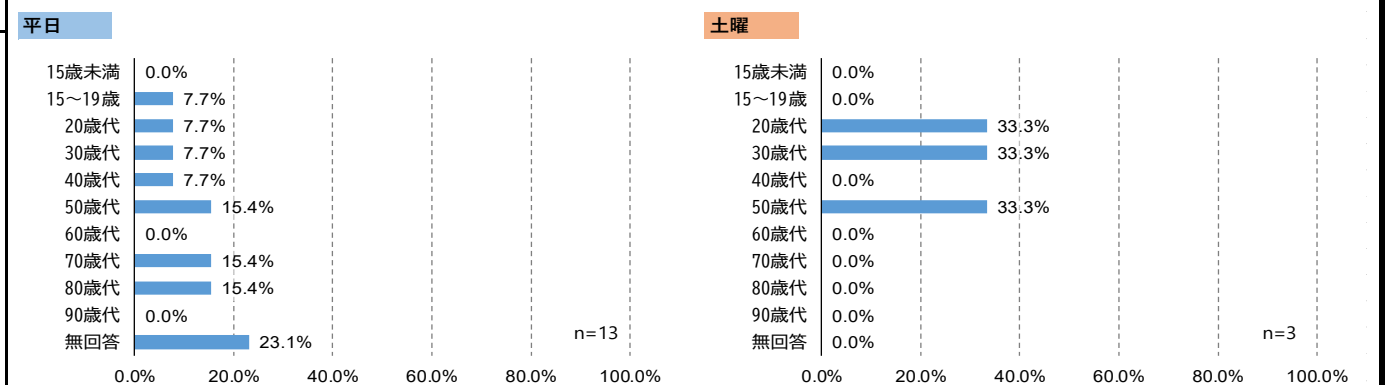
<利用頻度>

平日は週に数回の利用者が多い他、月に数回もみられる。土曜日は月に数回。



<年齢>

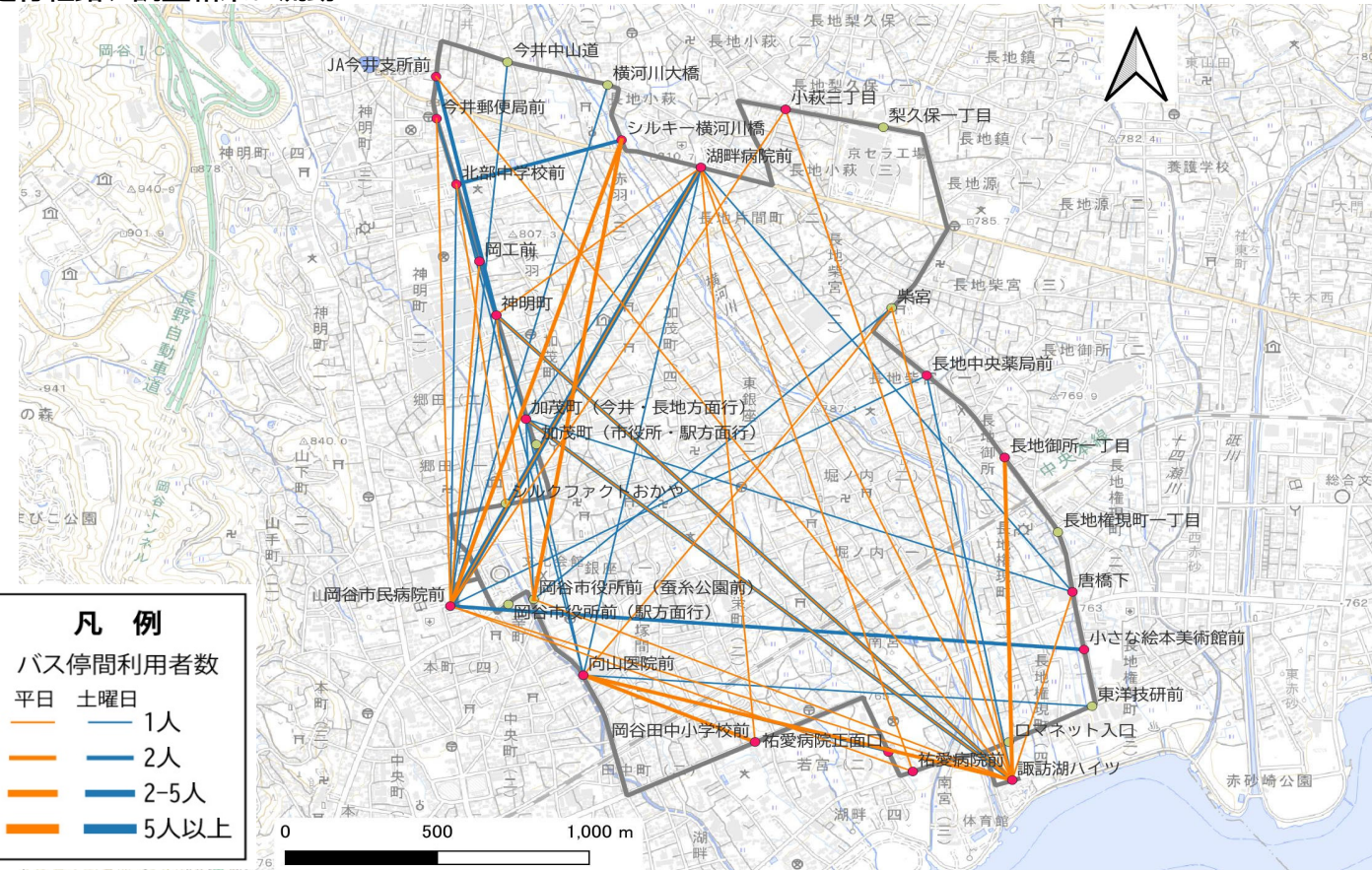
平日は15歳から80歳代まで広い年齢層が利用、土曜日は20～30歳代、50歳代が利用。



路線評価一覧表

5)市街地循環東ルート線

<運行経路、調査結果0D流動>



<収支、利用状況等>

2021年度(令和3年度実績)

運行経費	9,138 千円	※年間運行距離をもとに按分
運賃収入	1,573 千円	※年間利用者数をもとに按分
行政負担額	7,565 千円	
年間利用者数	11,214 人	
日平均利用者数	30.7 人/日	
1便平均利用者数	6.1 人/便	
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	15,248 人	※バス停から半径300m圏内人口

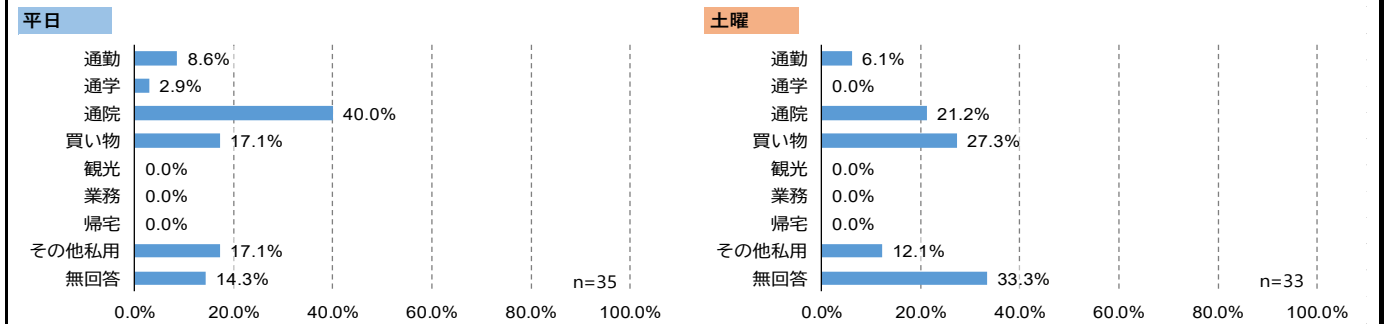
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4	休日:R4.10.1
利用者数	平日:35人	休日:33人

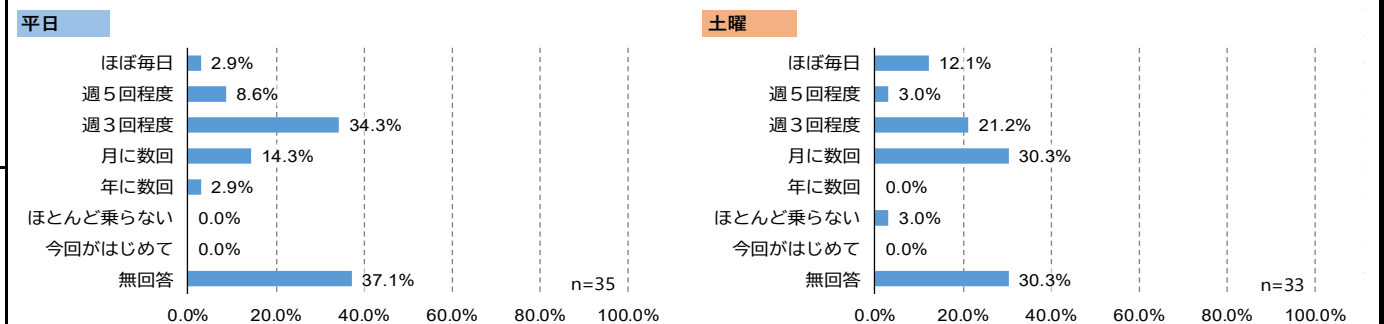
<利用目的>

平日は「通院」「買物」「通勤」など、土曜日は「買物」「通院」等が主な利用目的。



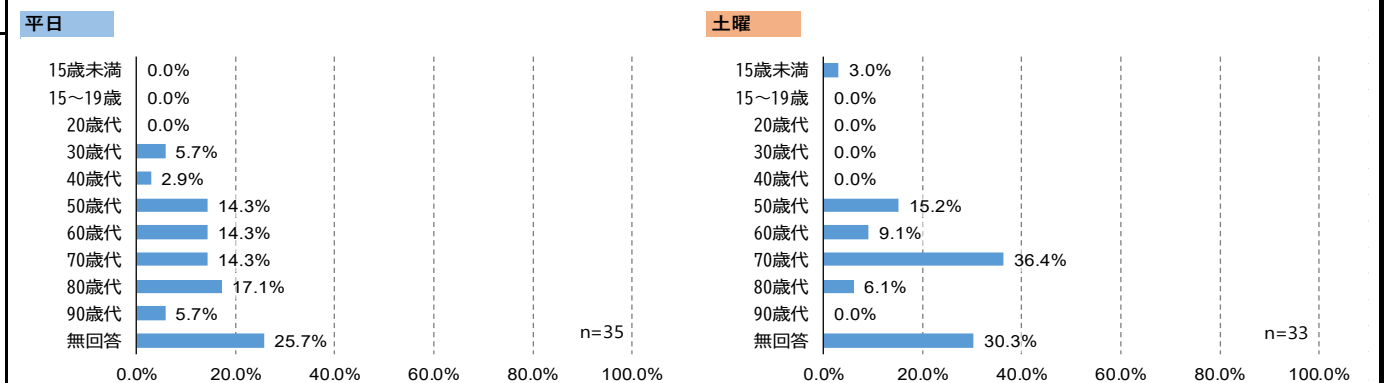
<利用頻度>

平日は「週に3回」「月に数回」など、土曜日は「月に数回」「週に3回」など。



<年齢>

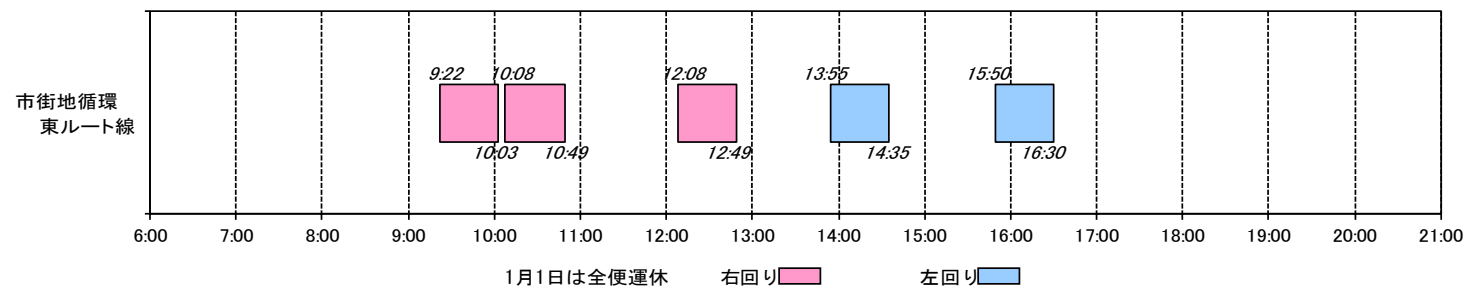
平日は30歳代から90歳代の年齢層が利用、土曜日は15歳未満、50~80歳代が利用。



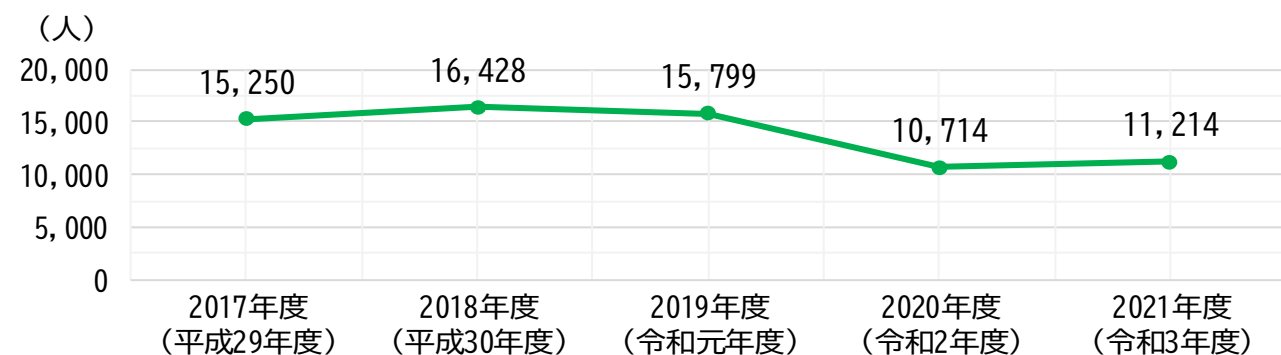
<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
アルピコタクシー (株)	岡谷市民病院前	岡谷市民病院前	13.4km	1,825 回	150円

<運行ダイヤ>



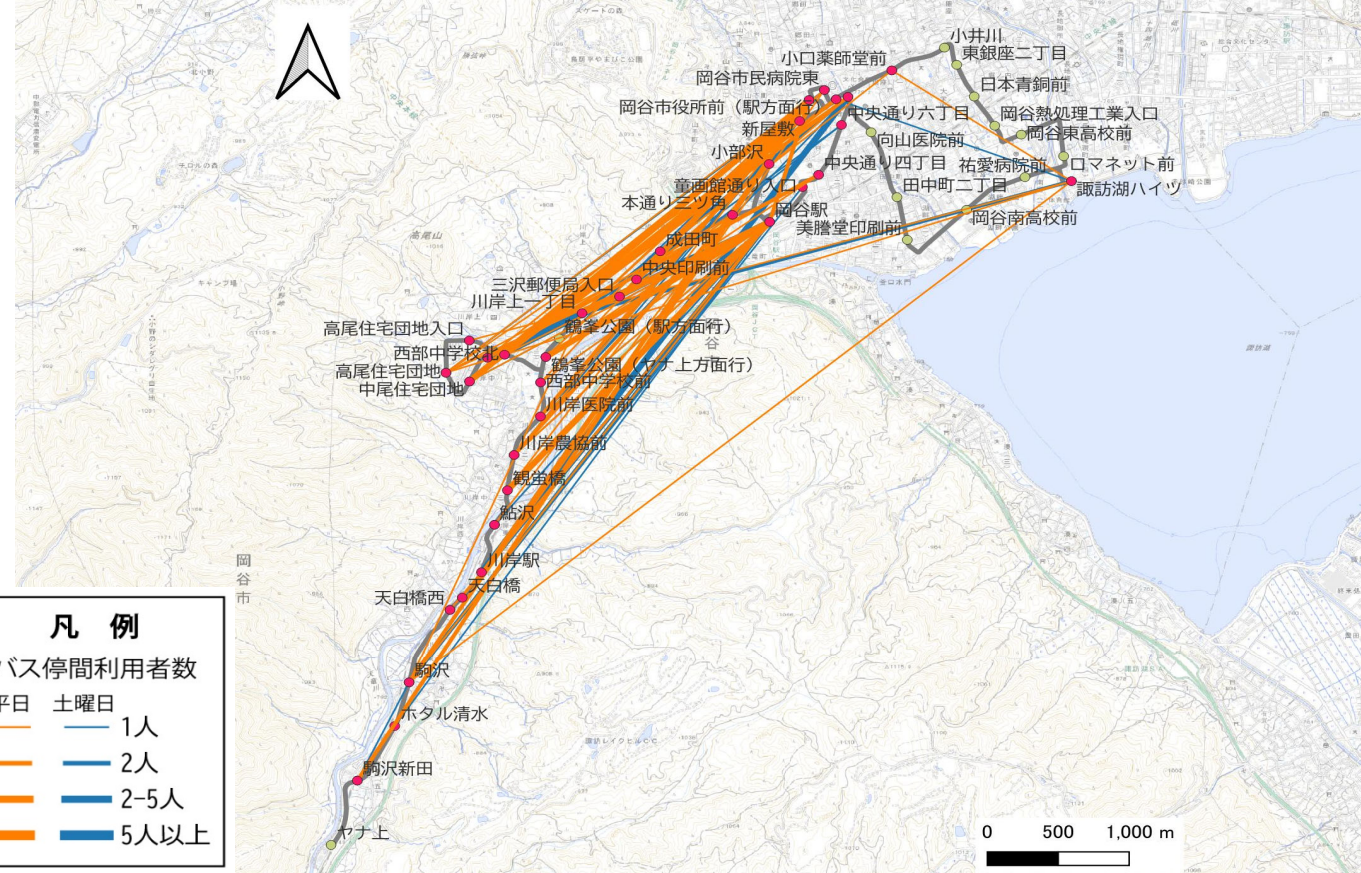
<利用状況の推移>



路線評価一覧表

⑥川岸線

<運行経路、調査結果0D流動>



**凡例**

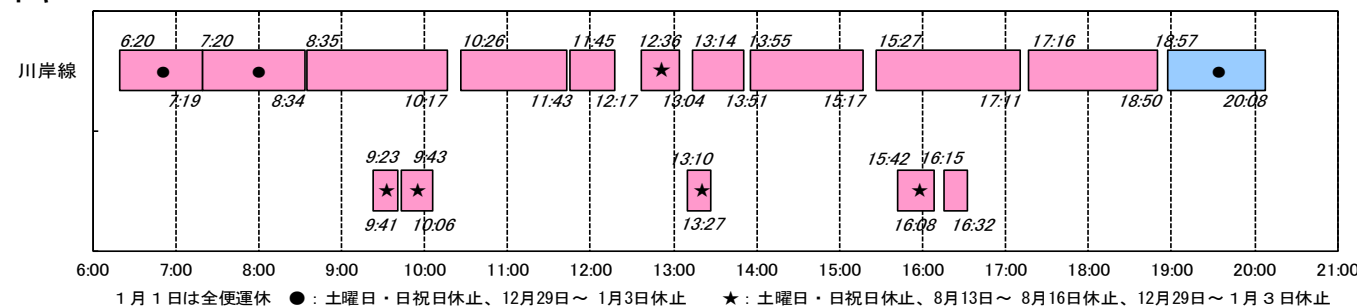
バス停間利用者数

平日	土曜日	1人
2-5人	2-5人	2-5人
5人以上	5人以上	5人以上

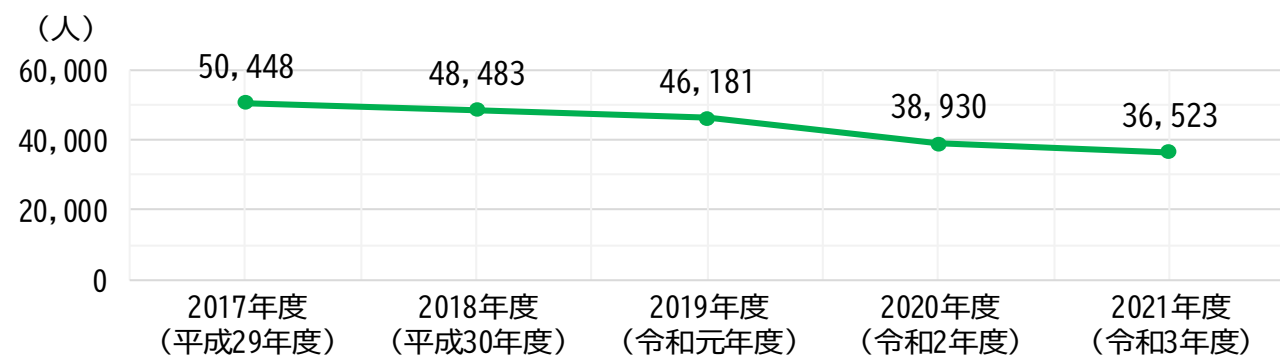
<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
アルピコタクシー (株)	ヤナ上	諏訪湖ハイツ	12.9km	4,745回	150円

<運行ダイヤ>



<利用状況の推移>



<収支、利用状況等>

2021年度(令和3年度実績)

運行経費	22,873 千円	※年間運行距離をもとに按分
運賃収入	5,124 千円	※年間利用者数をもとに按分
行政負担額	17,749 千円	
年間利用者数	36,523 人	
日平均利用者数	100.1 人/日	
1便平均利用者数	7.7 人/便	
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	16,246 人	※バス停から半径300m圏内人口

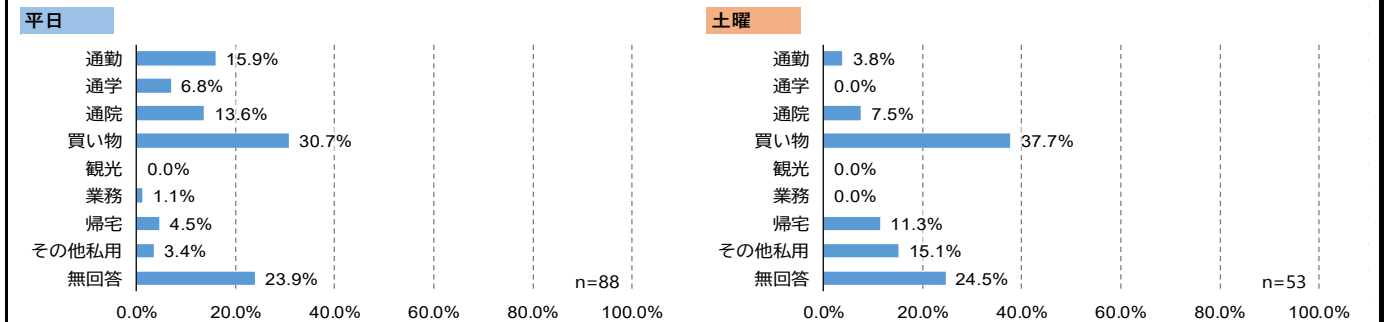
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4	休日:R4.10.1
利用者数	平日:88人	休日:53人

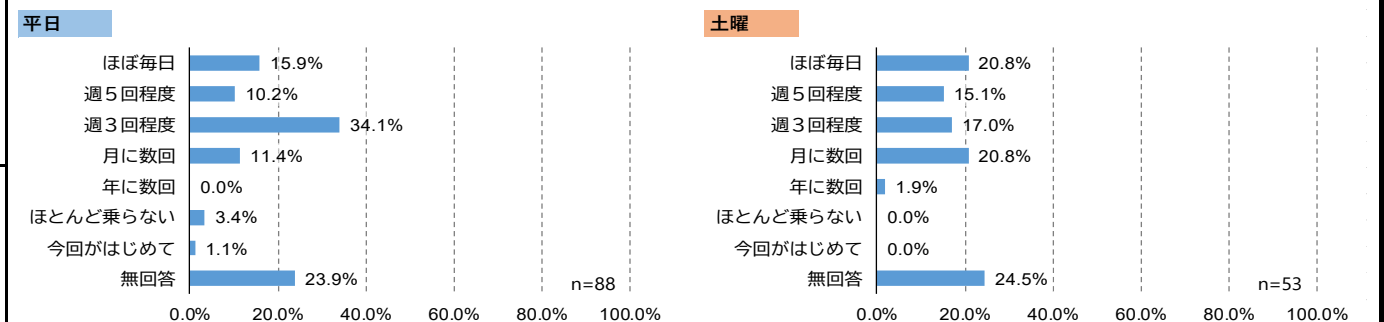
<利用目的>

平日は「買物」「通勤」「通院」等で利用、土曜日は「買物」「通院」等が主な利用目的。



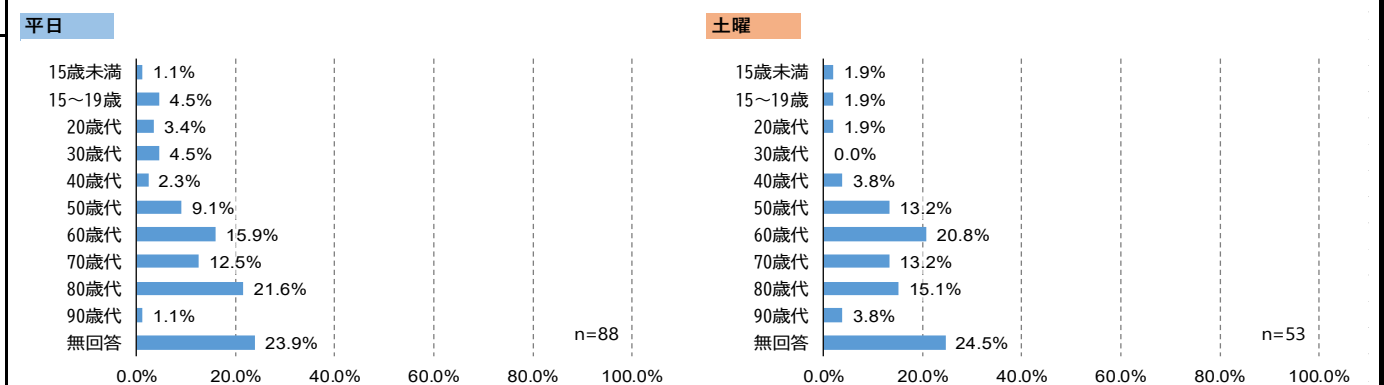
<利用頻度>

平日は「週3回程度」「ほぼ毎日」など、土曜日は「週に数回」「月に数回」の利用。



<年齢>

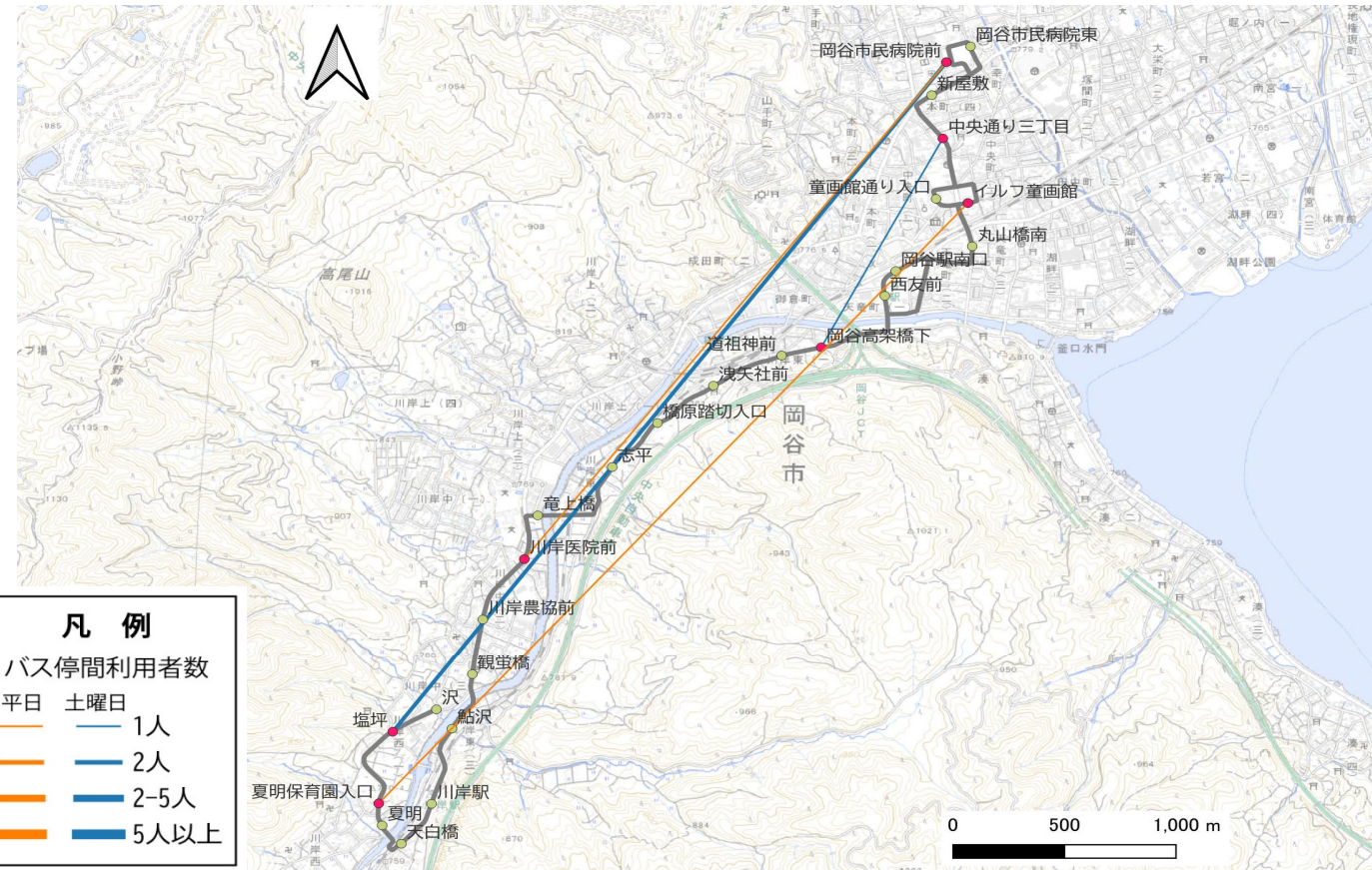
平日、土曜日ともに概ね全ての年代が利用しているが、50歳以上の利用割合が多い。



路線評価一覧表

7川岸橋原線

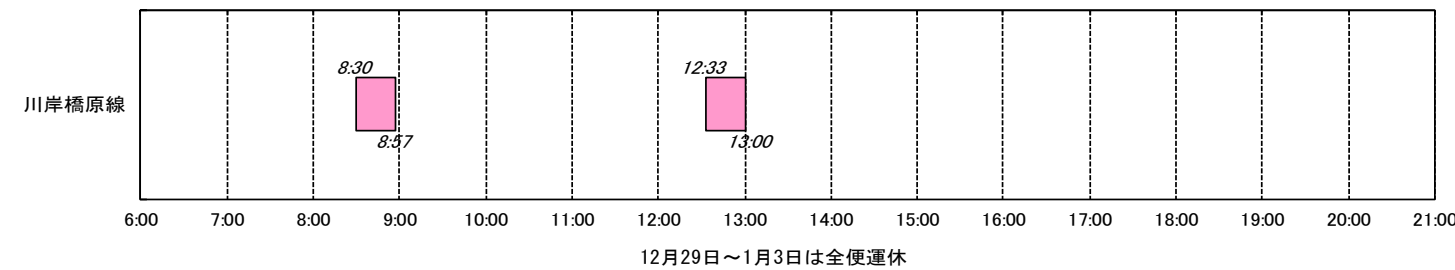
<運行経路、調査結果OD流動>



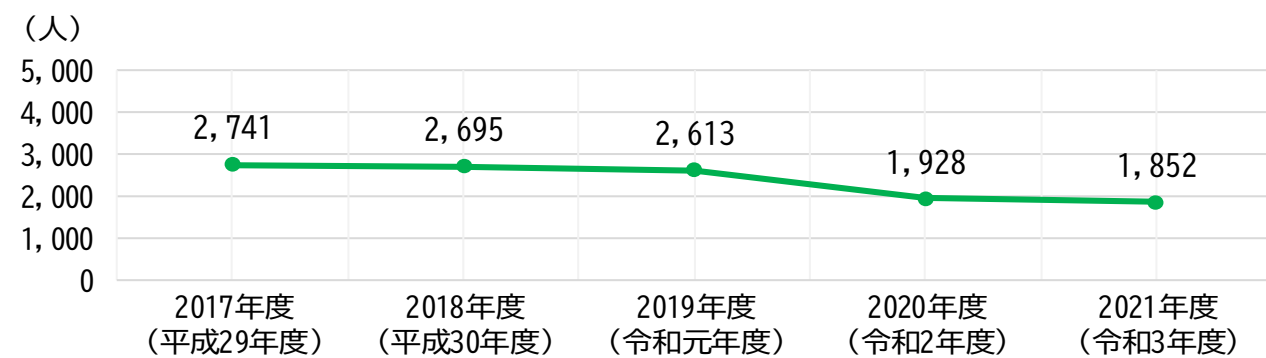
<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
アルピコタクシー (株)	沢	岡谷市民病院前	7.8km	718回	150円

<運行ダイヤ>



<利用状況の推移>



<収支、利用状況等>

2021年度(令和3年度実績)

運行経費	2,093 千円	※年間運行距離をもとに按分
運賃収入	260 千円	※年間利用者数をもとに按分
行政負担額	1,833 千円	
年間利用者数	1,852 人	
日平均利用者数	5.2 人/日	
1便平均利用者数	2.6 人/便	
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	6,861 人	※バス停から半径300m圏内人口

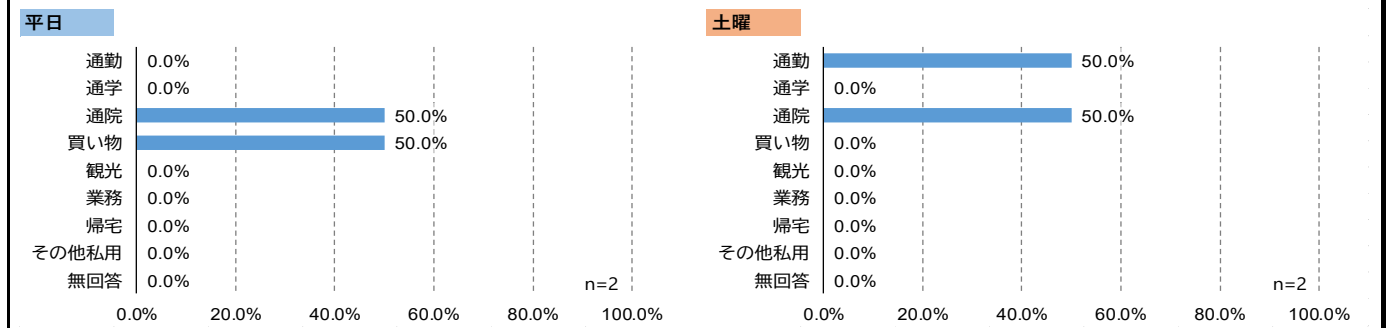
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4	休日:R4.10.1
利用者数	平日:2人	休日:2人

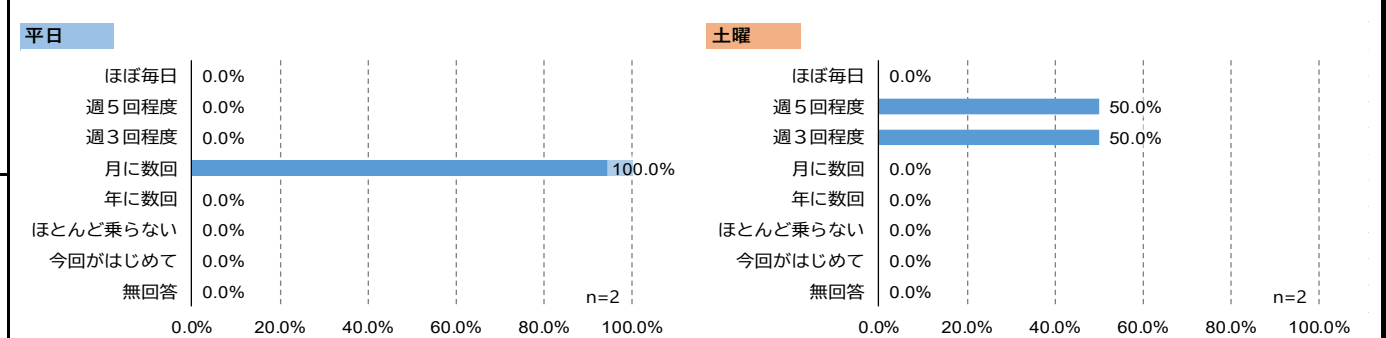
<利用目的>

平日は「通院」「買物」、土曜日は「通勤」「通院」で利用。



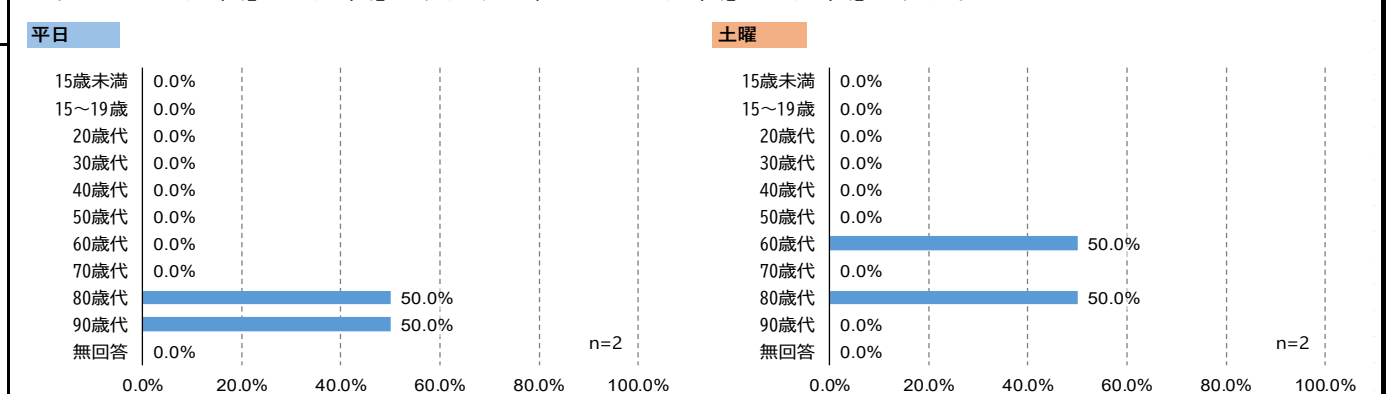
<利用頻度>

平日は「月に数回」、土曜日は「週5回」「週3回」でした。



<年齢>

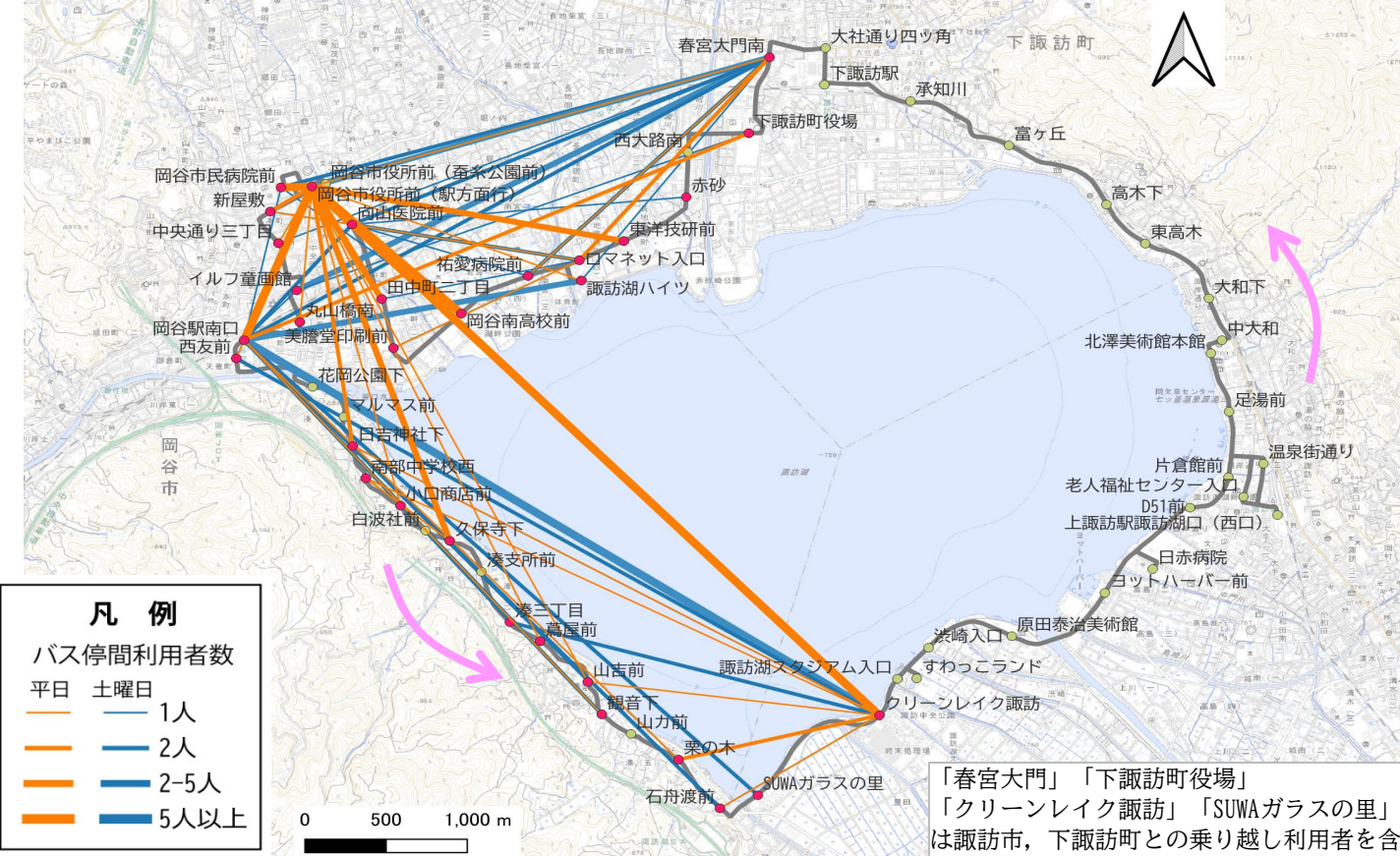
平日は「80歳代」「90歳代」が利用、土曜日は「60歳代」「80歳代」の利用。



路線評価一覧表

スワンバス (内回り線)

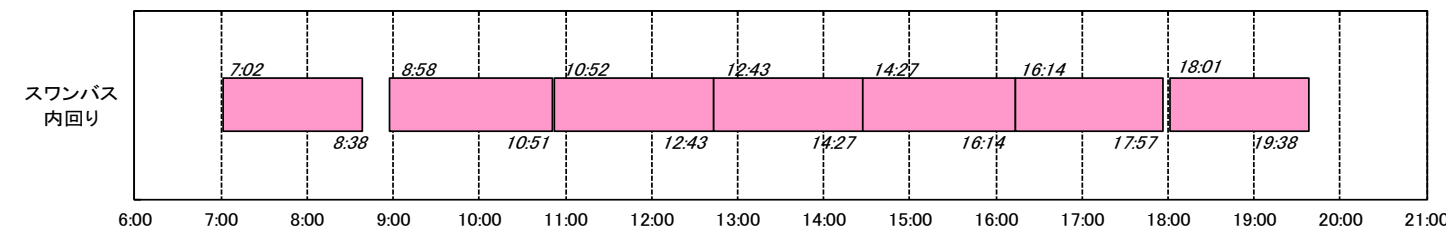
<運行経路、調査結果0D流動>



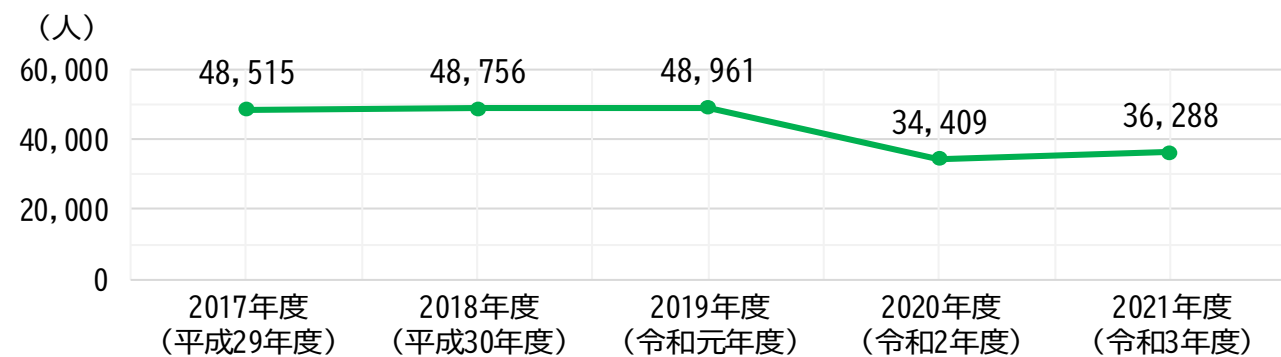
<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
JRバス株式会社	岡谷駅	岡谷駅	24.9km	2,555回	150円

<運行ダイヤ>



<利用状況の推移>



<収支、利用状況等>

2021年度(令和3年度実績)

運行経費 (2市1町合計)	20,146千円
運賃収入 (2市1町合計)	15,854千円
行政負担額 (2市1町合計)	4,292千円 (うち岡谷市負担 46.78%)
年間利用者数	36,288人
日平均利用者数	99.4人/日
1便平均利用者数	14.2人/便
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	10,289人 ※バス停から半径300m圏内人口

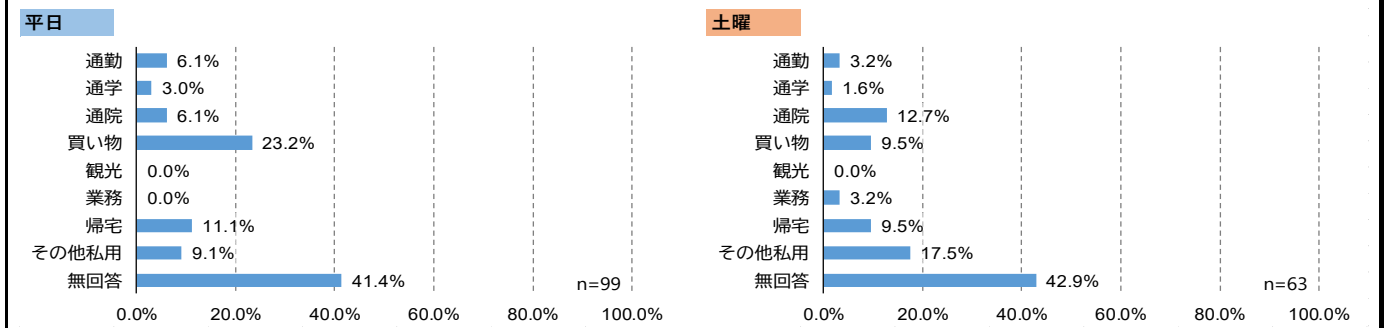
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4	休日:R4.10.1
利用者数	平日:99人	休日:63人

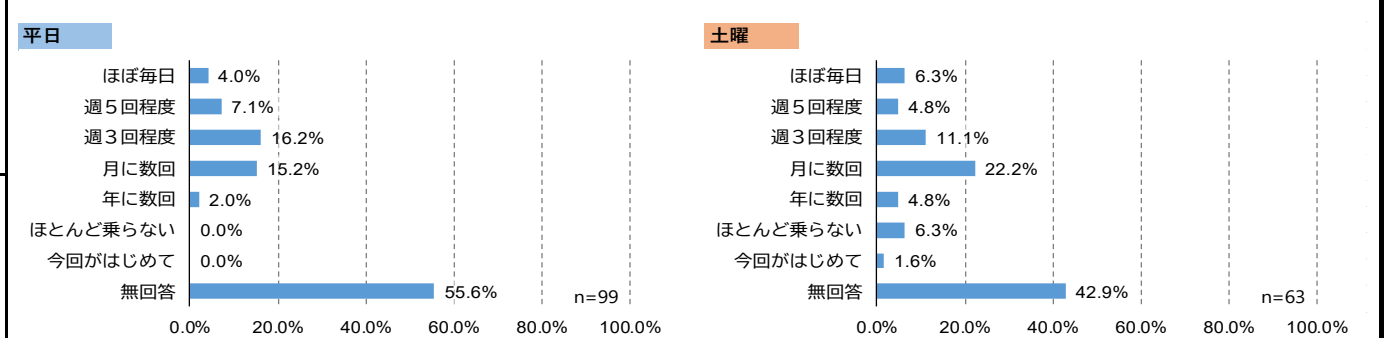
<利用目的>

平日、土曜日ともに「買物」「通勤」「帰宅」「通院」など多様な利用。



<利用頻度>

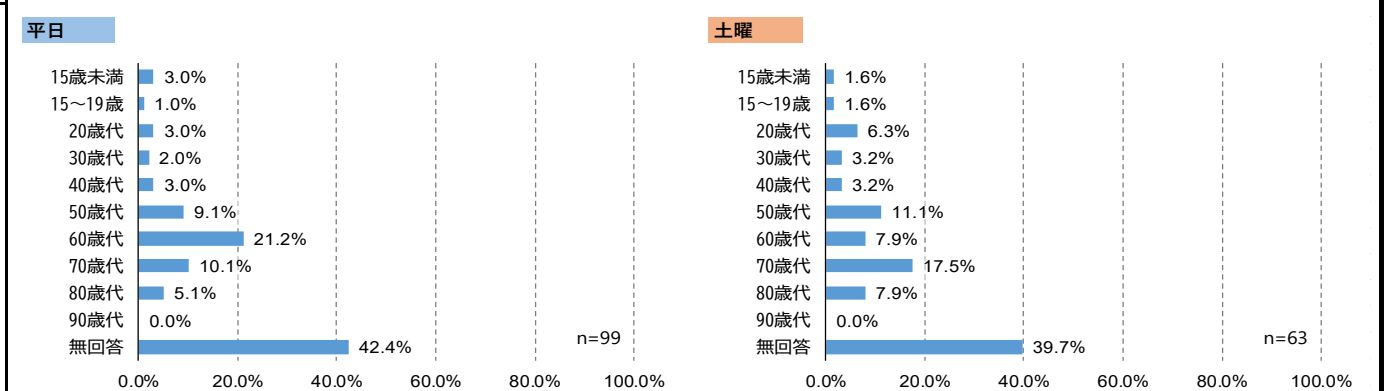
平日は「週に数回」「月に数回」、土曜日は「月に数回」「週に数回」の他、初利用者もあり。



<年齢>

平日は概ね全ての年代が利用し、60歳代の利用が多い。

土曜日は全ての年代が利用し、20歳代、50歳代、70歳代の利用が多い。

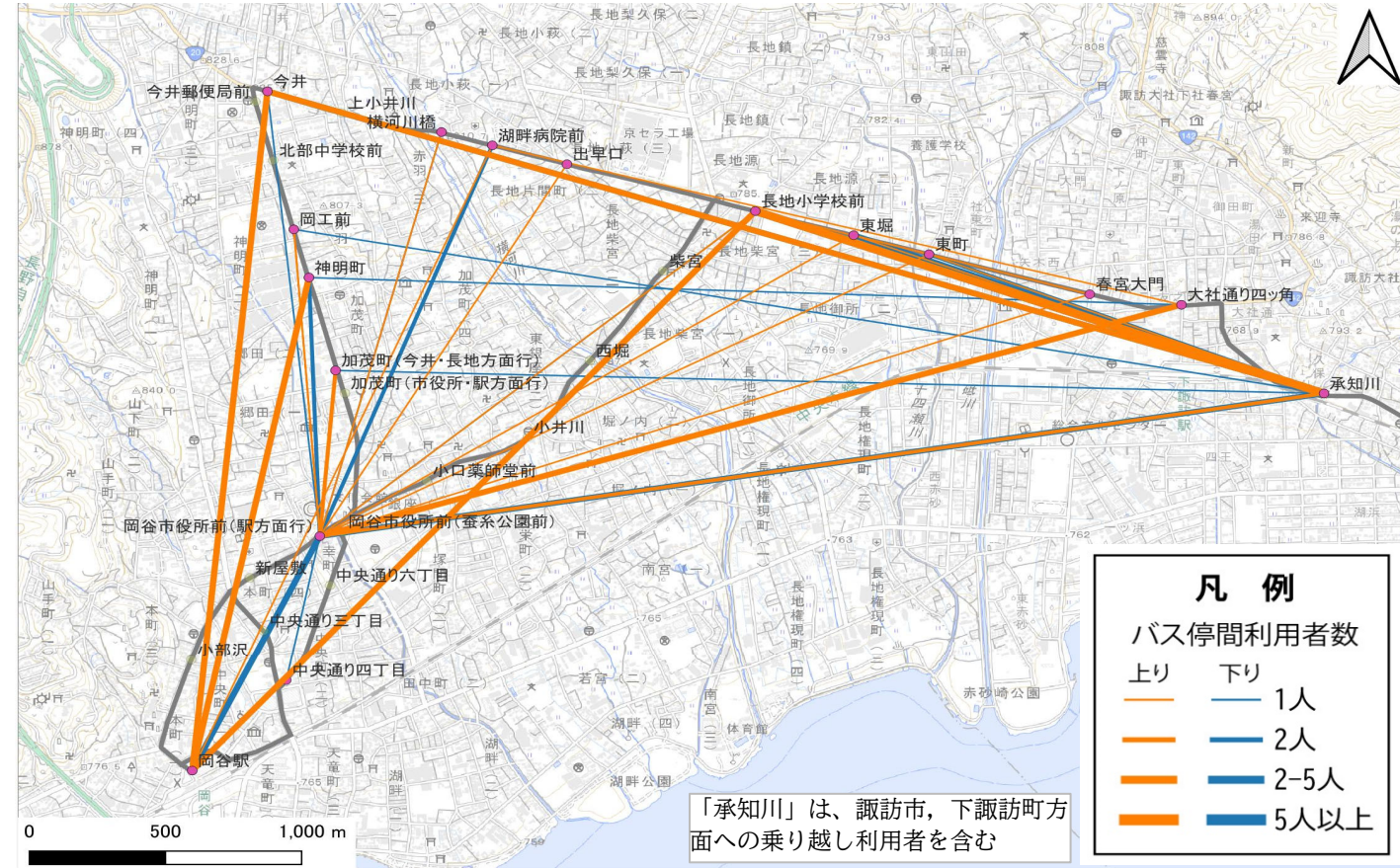






路線評価一覧表 岡谷茅野線

<運行経路、調査結果OD流動>



<収支、利用状況等>

2020年10月～2021年9月(バス年度実績)

運行経費	- 千円
運賃収入	- 千円
行政負担額	- 千円
年間利用者数	93,278 人 ※バス年度集計
日平均利用者数	393.6 人/日 ※バス年度集計
1便平均利用者数	13.5 人/便 ※バス年度集計
沿線人口 [2020年国勢調査人口]	10,372 人 ※バス停から半径300m圏内人口

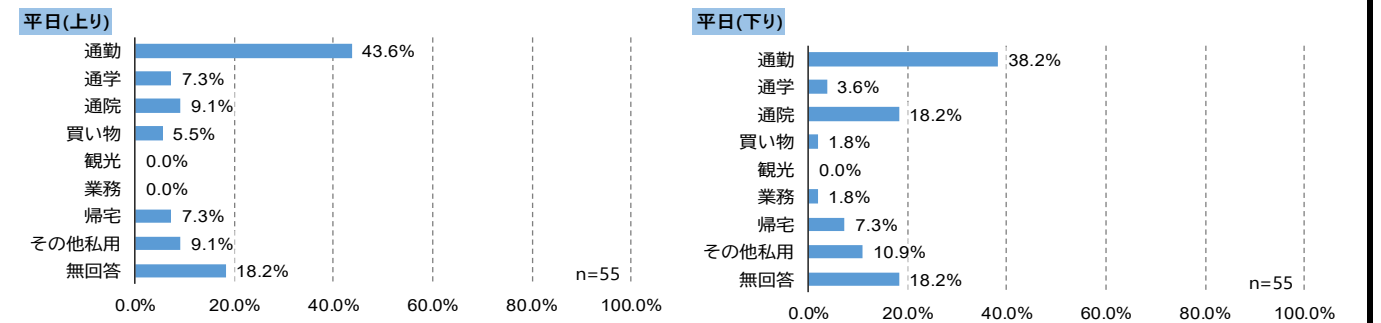
300m:「都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省)」による指標値を採用

<乗降調査結果>

調査日	平日:R4.10.4
利用者数	上り:55人 下り:55人

<利用目的>

上りは「通勤」「通院」「通学」「帰宅」など、下りは「通勤」「通院」「私用」「帰宅」などが主な利用。

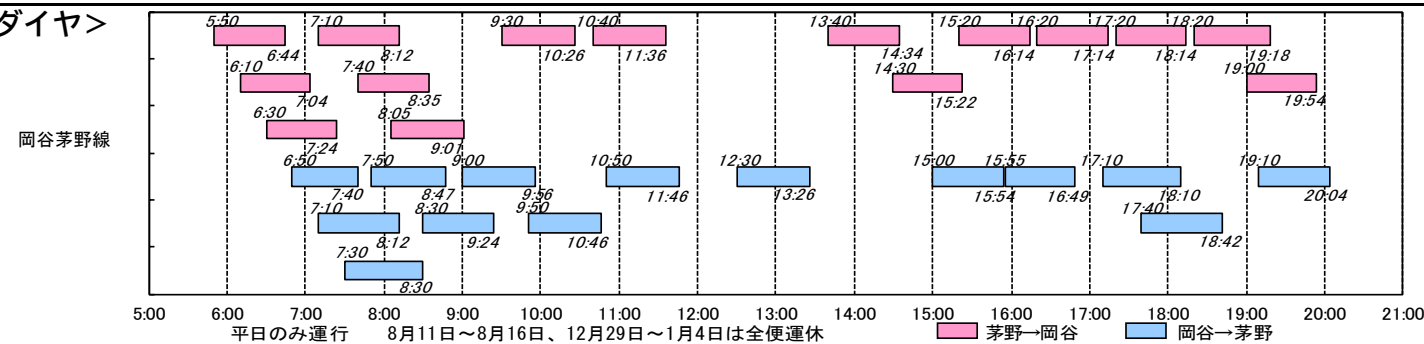


<運行概要>

運行事業者	運行系統			運行回数	運賃
	起点	終点	キロ程		
アルピコ交通株式会社	茅野駅	岡谷駅	18.8km	6,902 回	150～930円

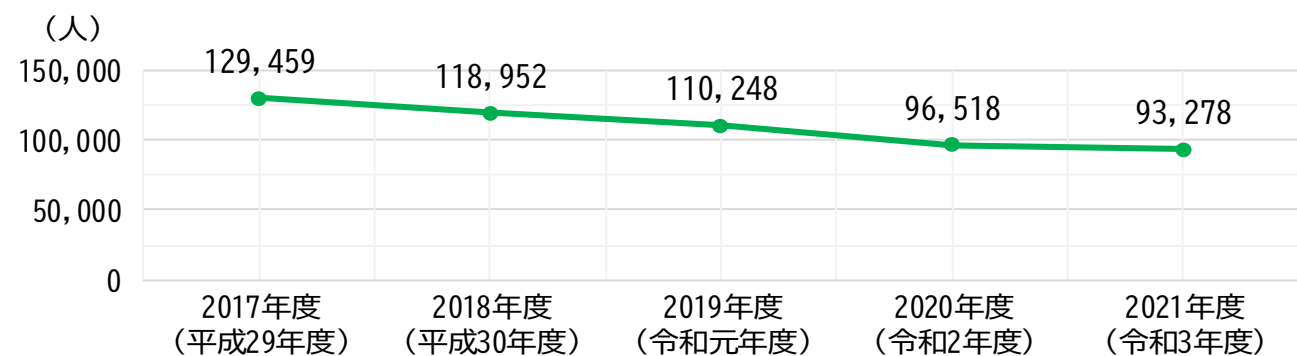
※運行回数はバス年度(10/1～9/30)集計

<運行ダイヤ>



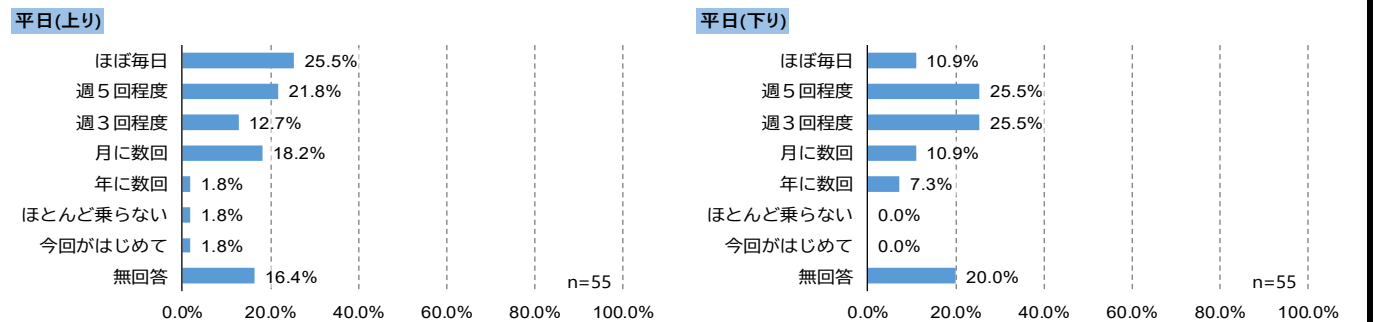
※利用者数はバス年度(10/1～9/30)集計

<利用状況の推移>



<利用頻度>

上りは「ほぼ毎日」「週5回」など、下りは「週に5回」「週に3回」など週に数回の利用が多い。



<年齢>

上り、下りともに概ね全ての年代が利用。上りは20歳代、60歳代、下りは60歳代、70歳代の利用がやや多い。

